

前 金	部 分 払
有	一 回

令和 6 年 度
北 橋 維 補 継 第 1 号

小古曾橋耐震補強工事設計書

工 事 仕 様 は 特 記 以 外 は 三 重 県 公 共 工 事 共 通 仕 様 書
及 び 工 事 監 督 員 の 指 示 に よ る 。

津 市
建 設 部 津 北 工 事 事 務 所

令和6年度	北橋維補継 第1号		工 事 設 計 書	
施工場所	津市安濃町戸島地内		所長	
			担当副参事	
工 事 名	小古曾橋耐震補強工事		検算者	
			担当主幹	
設 計 額	(うち消費税等相当額)		設計者	
工 期	令和 8 年 2 月 2 日限り			
長	-	巾	-	
工 事 の 大 要				
落橋防止装置工			一 式	
橋脚コンクリート巻立て工			一 式	

令和6年度北橋維補継第1号
小古曾橋耐震補強工事



工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度北橋維補継第 1 号 小古曽橋耐震補強工事	当初		事業区分	道路維持・修繕	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
橋梁保全工事				式		1		
橋梁付属物工				式		1		
落橋防止装置工				式		1		
落橋防止装置 橋台				式		1		
落橋防止装置 橋脚				式		1		
水平力分担構造 橋台・橋脚				式		1		
橋脚巻立て工				式		1		
作業土工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曽橋耐震補強工事			当初	事業区分	道路維持・修繕
							工事区分	橋梁保全工事
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
床掘り			土砂	m3		470		
埋戻し			発生土	m3		470		
土材料			購入土	m3		50		
積込(ルース)			土質土砂; 作業内容土量50,000m3未満	m3		520		
土砂等運搬				m3		990		
橋脚コンクリート巻立て工				式		1		
コンクリート巻立て			24- 12- 25(20) (高炉)	式		1		
仮設工				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度北橋維補継第 1 号 小古曽橋耐震補強工事		当初	事業区分	道路維持・修繕	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
足場工				式		1		
足場				式		1		
工事用道路工				式		1		
工事用道路				式		1		
土留・仮締切工				式		1		
仮締切工				箇所		1		
水替工				式		1		
ポンプ排水			排水量0以上40(m3/h) 未満; 排水方法作業時排水	式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和6年度北橋維補継第1号 小古曾橋耐震補強工事			当初	事業区分	道路維持・修繕
							工事区分	橋梁保全工事
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員				人日		125		
直接工事費				式		1		
共通仮設				式		1		
共通仮設費				式		1		
運搬費				式		1		
仮設材運搬費				t		79.4		
準備費				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度北橋維補継第 1 号 小古曾橋耐震補強工事			当初	事業区分	道路維持・修繕
							工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
木根等処分費				式		1		
技術管理費				式		1		
施工調査費				式		1		
共通仮設費（率計上）				式		1		
純工事費				式		1		
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和 6 年度北橋維補繼第 1 号 小古曾橋耐震補強工事			当初	事業区分	道路維持・修繕
							工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
工事価格				式		1		
消費税相当額				式		1		
工事費計				式		1		

令和6年度北橋維補継第1号

小古曾橋耐震補強工事

数 量 総 括 表

レベル1 : 橋梁保全工事

レベル1 : 共通仮設

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
橋梁保全工事					式	1	
	橋梁付属物工				式	1	
		落橋防止装置工			式	1	
			落橋防止装置	橋台	式	1	
			落橋防止装置	橋脚	式	1	
			水平力分担構造	橋台・橋脚	式	1	
	橋梁巻立て工				式	1	
		作業土工			式	1	
			床掘り	土砂	m3	470	
			埋戻し	土砂	m3	470	
			土材料	購入土	m3	50	
			積込	土砂	m3	520	
			土砂等運搬	土砂	m3	990	
		橋脚コンクリート巻立て工			式	1	
			コンクリート巻立て	24-12-25BB	式	1	

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
	仮設工				式	1	
		足場工			式	1	
			足場		式	1	
		工事用道路工			式	1	
			工事用道路		式	1	
		土留・仮締切工			式	1	
			仮締切工		箇所	1	
		水替工			式	1	
			ポンプ排水		式	1	
		交通管理工			式	1	
			交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人日	125	
共通仮設					式	1	
	共通仮設費				式	1	
		運搬費			式	1	
			仮設材運搬費	敷鉄板	t	79.4	

工 事 数 量 総 括 表							
レベル1 (工事区分)	レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	単位	数量	摘要
		準備費			式	1	
			木根等処分費	伐木	式	1	
		技術管理費			式	1	
			施工調査費	鉄筋探査工 近接調査計測工	式	1	

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
橋梁付属物工	落橋防止装置工	落橋防止装置設置	橋台 落橋防止装置取付 N=2組 芯出し素地調整 N=2組 コンクリート削孔 N=12孔 アンカー N=12本 鋼桁孔明工 N=44本 充填工 N=0.75m ² 注入工(シール含む) N=0.75m ² 高力ボルト本締工 N=44本 ピンテル仕上げ工 N=44本 既設部素地調整 A=0.88m ² 現場塗装 A=0.22m ² 落橋防止装置材料費 鋼製ブラケット(垂鉛メッキ) W=0.30t 鋼製ブラケット(C-5) W=0.33t 緩衝チェーン連結装置 N=2組 高力ボルトM22*115 N=16本 高力ボルトM22*95 N=12本 高力ボルトM22*90 N=16本 アンカーボルト D35*635 N=12組 N= 1.00	式	1.0
		落橋防止装置設置	橋脚 落橋防止装置取付 N=4組 芯出し素地調整 N=4組 鋼桁孔明工 N=120本 高力ボルト本締工 N=120本 ピンテル仕上げ工 N=120本		

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		水平力分担構造	既設部素地調整 A=3.16m ² 現場塗装 A=0.64m ² 落橋防止装置材料費 鋼製ブラケット(C-5) W=1.44t ケーブル連結装置 N=4組 高力ボルトM22*125 N=24本 高力ボルトM22*120 N=16本 高力ボルトM22*65 N=80本 N= 1.00 橋台・橋脚 落橋防止装置取付 N=14組 芯出し素地調整 N=14組 コンクリート削孔 N=72孔 アンカー N=72本 鋼桁孔明工 N=200本 チッピング工 N=2.52m ² 注入工(シール含む) N=2.52m ² 高力ボルト本締工 N=336本 ピンテール仕上げ工 N=336本 既設部素地調整 A=3.71m ² 現場塗装 A=1.81m ² 落橋防止装置材料費 鋼製ブラケット(C-5) W=4.27t 鋼製ブラケット(亜鉛メッキ) W=0.56t 緩衝ピンφ70 N=4基 緩衝ピンφ105 N=4基 緩衝ピンφ65 N=6基 高力ボルトM22*80 N=16本 高力ボルトM22*105 N=48本	式	1.0

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
橋脚巻立て工	作業土工	床掘り	高力ボルトM22*115 N=176本 高力ボルトM24*155 N=96本 アンカーボルト D25*500 N=24組 アンカーボルト D25*505 N=16組 アンカーボルト D29*570 N=32組 N= 1.00	式	1.0
			土砂 V= 472.20	m3	472.2
			埋戻し 土砂 V= 465.20	m3	465.2
			土材料 購入土 V=(465.2-472.2×0.9)×1.33 = 53.49	m3	53.5
			積込 土砂 V=465.2/0.9 = 516.89	m3	516.9
			土砂等運搬 土砂 V=472.20+465.2/0.9 = 989.09	m3	989.1
	橋脚コンクリート巻立て工	コンクリート巻立て	RC巻立て補強 コンクリート(24-12-25BB) V=12.8+0.004+6.6=19.4m3 一般型枠 A=21.2+0.3+9.3=30.8m2 円形型枠 A=26.0+11.9=37.9m2 下地処理(表面処理) A=30.4+24.9+1.6+1.7=58.6m2		

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	土留・仮締切工	仮締切工	土砂等運搬・残土等処分 $V=447.1+114 \times 0.83=541.7\text{m}^3$ 敷鉄板設置撤去 $A=3.00 \times 25.00+8.00 \times 48.00=459.0\text{m}^2$ 敷鉄板設賃料 N=1式 防護柵撤去 L=6.5m 防護柵設置（既設再利用） L=6.5m N= 1.0 式 1.0		
	水替工	ポンプ排水	大型土のう工（製作・設置） N=61袋 大型土のう工（撤去） N=61袋 土砂等運搬・残土等処分 $V=61 \times 0.83=50.6\text{m}^3$ N= 1.0 式 1.0		
	交通管理工	交通誘導警備員	作業時排水 N= 1.0 式 1.0		
			交通誘導警備員B N= 1.0 式 1.0		

数 量 計 算 書					
レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
共通仮設費	運搬費	仮設材運搬費	敷鉄板（往復） W=99×0.802	= 79.40 t	79.4
	準備費	木根等処分費	伐木 N=3本 処分量 W=0.51×3=1.53t	N= 1.0 式	1.0
	技術管理費	施工調査費	鉄筋探査工（落橋防止 横向き） A=0.75m ² 鉄筋探査工（水平力分担 下向き） A=2.52m ² 鉄筋探査工（巻立て補強 下向き） A=3.3m ² 鉄筋探査工（巻立て補強 横向き） A=9.2m ² 近接調査計測工（落橋防止 橋台） N=2組 近接調査計測工（落橋防止 橋脚） N=4組 近接調査計測工（水平分担構造） N=14組	N= 1.0 式	1.0

落橋防止構造(ブラケット他) 数量計算書

総括表

階層1										
名称		規格	単位	小古曾A1落防	小古曾P1落防	小古曾A2落防	総計	備考		
材料 (鋼材重量)	PL	SM490YB	28	kg	92	384	-	476	ララケット	
		SM490A	22	kg	-	104	-	104	ララケット	
		SM400A	25	kg	300	-	-	300	ララケット	
			22	kg	230	728	-	958	ララケット	
			9	kg	-	224	-	224	ララケット	
	SS400	12	kg	4	-	-	4	ララケット		
	DB	SD345	D 35	kg	58	-	-	58	アンカーボルト	
	TCB	S10T	M 22	kg	26	64	-	90	トルジア系高カボルト	
	NUT	SS400	M 33	kg	4	-	-	4	ナット(1種)	
	NUT3	SS400	M 33	kg	2	-	-	2	ナット(3種)	
WASH	SS400	M 33	kg	2	-	-	2	ワッシャー		
		総計	kg	718	1504	-	2222			
トルジア系 高カボルト	TCB	S10T	M 22* 125	本	-	24	-	24		
			M 22* 120	本	-	16	-	16		
			M 22* 115	本	16	-	-	16		
			M 22* 95	本	12	-	-	12		
			M 22* 90	本	16	-	-	16		
	M 22* 65	本	-	80	-	80				
			総計	本	44	120	-	164		
	アンカーボルト ナット ワッシャー	DB	SD345	L=635mm (0.833ねじ切り L=110)	12	-	-	12		
		NUT	SS400	M 33(1種)	個	12	-	-	12	HDZT49
		NUT3	SS400	M 33(3種)	個	12	-	-	12	
WASH		SS400	M 33	個	12	-	-	12		
PL		SM400A	25	kg	218	-	-	218		
メッキ処理 (鋼材重量)	PL	SM400A	22	kg	80	-	-	80	HDZT77	
				kg	298	-	-	298		
			SM490YB	28	kg	92	384	-	476	
			SM490A	22	kg	-	104	-	104	
			SM400A	25	kg	82	-	-	82	
工場塗装 (鋼材重量)	PL	SM400A	22	kg	150	728	-	878	C-5	
			9	kg	-	224	-	224		
			SS400	12	kg	4	-	-	4	
				kg	328	1440	-	1768		
				kg						
現場塗装	F-11B	ボルト外面	m ²	0.22	0.64	-	0.86	F-11		
既設部材 素地調整	J	接触面	m ²	0.88	3.16	-	4.04	3種ケレン		

材料総括表

(単位:kg)

			階層1				総計
材種	材質	形状	小古普A1落防	小古普P1落防	小古普A2落防		
PL	SM490YB	28	92	384	-		476
	SM490YB 集計		92	384	-		476
	SM490A	22	-	104	-		104
	SM490A 集計		-	104	-		104
	SM400A	25	300	-	-		300
		22	230	728	-		958
		9	-	224	-		224
	SM400A 集計		530	952	-		1482
	SS400	12	4	-	-		4
	SS400 集計		4	-	-		4
PL 集計			626	1440	-		2066
加工重量 集計			626	1440	-		2066
DB	SD345	D 35	58	-	-		58
	SD345 集計		58	-	-		58
TCB	S10T	M 22	26	64	-		90
	S10T 集計		26	64	-		90
NUT	SS400	M 33	4	-	-		4
	SS400 集計		4	-	-		4
NUT3	SS400	M 33	2	-	-		2
	SS400 集計		2	-	-		2
WASH	SS400	M 33	2	-	-		2
	SS400 集計		2	-	-		2
部品重量 集計			92	64	-		156
総計			718	1504	-		2222

ボルト、アンカーボルト、ナット・ワッシャー総括表

(単位:本)							
			階層1				
材種	材 質	断 面	小古魯A1落防	小古魯P1落防	小古魯A2落防	総計	
TCB	S10T	M 22* 125	-		24	-	24
		M 22* 120	-		16	-	16
		M 22* 115	16	-		-	16
		M 22* 95	12	-		-	12
		M 22* 90	16	-		-	16
		M 22* 65	-		80	-	80
S10T 集計			44	120	-	164	
総計			44	120	-	164	

名 称	規 格		単 位	小古魯A1落防	小古魯P1落防	小古魯A2落防	総計	備考
アンカーボルト ナット ワッシャー	DB	SD345	L=635mm (M33ねじ用) L=110)	本	12	-	-	12 HDZT 49
	NUJ	SS400	M 33(1種)	個	12	-	-	12 HDZT 49
	NUJ3	SS400	M 33(3種)	個	12	-	-	12 HDZT 49
	WASH	SS400	M 33	個	12	-	-	12 HDZT 49

※材料質量は材料総括表に取りまとめた。

塗装面積総括表

塗装系別集計

記号	塗装系	(単位:㎡)				備考
		階層1			総計	
C-5	一般部外面	小古曽A1落防	小古曽P1落防	小古曽A2落防	14.76	工場塗装(C-5)
D-5	一般部内面	-	-	-	-	-
J	接触面	0.88	3.16	-	4.04	既設部素地調整(3種ケレン)
F-11	添接部外面			-		-
F-12	添接部内面	-	-	-	-	-
F-11B	ボルト外面	0.22	0.64	-	0.86	現場塗装(F-11)
F-12B	ボルト内面	-	-	-	-	-
KR	ケレン面積	0.88	3.16	-	4.04	-
K	グラスト面積	2.96	15.84	-	18.80	-

メッキ処理総括表

仕分1	HDZT49
-----	--------

(単位:kg)

					階層1	
材種	材 質	形 状	小古曹A1落防	小古曹A2落防	総計	
DB	SD345	D 35	58	-	58	
	SD345 集計		58	-	58	
NUT	SS400	M 33	4	-	4	
	SS400 集計		4	-	4	
NUT3	SS400	M 33	2	-	2	
	SS400 集計		2	-	2	
WASH	SS400	M 33	2	-	2	
	SS400 集計		2	-	2	
総計			66	-	66	

仕分1	HDZT77
-----	--------

(単位:kg)

			階層1			
材種	材質	形状	小古曹A1落防	小古曹A2落防	総計	
PL	SM400A	25	218	-	218	
		22	80	-	80	
	SM400A 集計		298	-	298	
総計			298	-	298	

材料計算書

(単位:mm,kg)

小古曽A1落防 A1落橋防止 G1												
員数	部材名	材種	断 面		長さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
1	Base	PL	240	x	28	865	219.8	45.6	46 SM490YB		小型	ブラケット
1	Top	PL	377	x	25	825	196.2	39.7	40 SM400A	65	小型	ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.64	17 SM400A	74	小型	ブラケット
4	Rib	PL	88	x	22	140	172.7	2.13	9 SM400A		小型	ブラケット
8	2W	TCB	M22	x	115			0.658	5 S10T		購入	ブラケット
6	2W	TCB	M22	x	95			0.598	4 S10T		購入	ブラケット
1	Fill	PL	80	x	12	240	94.20	1.81	2 SS400		小型	ブラケット
2	Base	PL	160	x	22	210	172.7	5.80	12 SM400A		小型	ブラケット
2	Flg	PL	85	x	22	295	172.7	4.33	9 SM400A		小型	ブラケット
2	Rib	PL	80	x	22	193	172.7	2.67	5 SM400A		小型	ブラケット
4		TCB	M22	x	90			0.583	2 S10T		購入	ブラケット
2	Base	PL	160	x	22	210	172.7	5.80	12 SM400A		小型	ブラケット
2	Flg	PL	85	x	22	210	172.7	3.08	6 SM400A		小型	ブラケット
2	Rib	PL	80	x	22	193	172.7	2.67	5 SM400A		小型	ブラケット
4		TCB	M22	x	90			0.583	2 S10T		購入	ブラケット
1	Base	PL	500	x	25	750	196.2	73.6	74 SM400A		小型	ブラケット
1	Top	PL	380	x	25	710	196.2	35.5	36 SM400A	67	小型	ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.64	17 SM400A	74	小型	ブラケット
4	Rib	PL	150	x	22	218	172.7	5.65	23 SM400A		小型	ブラケット
6	ANC	DB	D 35			635	7.510	4.77	29 SD345		購入	ブラケット
6	1種	NUT	M 33					0.291	2 SS400		購入	ブラケット
6	3種	NUT3	M 33					0.241	1 SS400		購入	ブラケット
6		WASH	M 33					0.085	1 SS400		購入	ブラケット
G1												
359 kg												
A1落橋防止												

小古曽A1落防 A1落橋防止 G4												
員数	部材名	材種	断 面		長 さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
1	Base	PL	240	x	28	865	219.8	45.6	46 SM490YB		小型	ブラケット
1	Top	PL	377	x	25	825	196.2	39.7	40 SM400A	65	小型	ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.64	17 SM400A	74	小型	ブラケット
4	Rib	PL	88	x	22	140	172.7	2.13	9 SM400A		小型	ブラケット
8	2W	TCB	M22	x	115			0.658	5 S10T		購入	ブラケット
6	2W	TCB	M22	x	95			0.598	4 S10T		購入	ブラケット
1	Fill	PL	80	x	12	240	94.20	1.81	2 SS400		小型	ブラケット
2	Base	PL	160	x	22	210	172.7	5.80	12 SM400A		小型	ブラケット
2	Flg	PL	85	x	22	295	172.7	4.33	9 SM400A		小型	ブラケット
2	Rib	PL	80	x	22	193	172.7	2.67	5 SM400A		小型	ブラケット
4		TCB	M22	x	90			0.583	2 S10T		購入	ブラケット
2	Base	PL	160	x	22	210	172.7	5.80	12 SM400A		小型	ブラケット
2	Flg	PL	85	x	22	210	172.7	3.08	6 SM400A		小型	ブラケット
2	Rib	PL	80	x	22	193	172.7	2.67	5 SM400A		小型	ブラケット
4		TCB	M22	x	90			0.583	2 S10T		購入	ブラケット
1	Base	PL	500	x	25	750	196.2	73.6	74 SM400A		小型	ブラケット
1	Top	PL	380	x	25	710	196.2	35.5	36 SM400A	67	小型	ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.64	17 SM400A	74	小型	ブラケット
4	Rib	PL	150	x	22	218	172.7	5.65	23 SM400A		小型	ブラケット
6	ANC	DB	D 35			635	7.510	4.77	29 SD345		購入	ブラケット
6	1種	NUT	M 33					0.291	2 SS400		購入	ブラケット
6	3種	NUT3	M 33					0.241	1 SS400		購入	ブラケット
6		WASH	M 33					0.085	1 SS400		購入	ブラケット
G4								359	kg			
A1落橋防止								718	kg			
小古曽A1落防								718	kg			

(単位:mm,kg)

HDZT49 小古曽A1落防 A1落橋防止 G1												
員数	部材名	材種		断面	長さ	単位重量	単品重量	重量	材質	ネット	要素	備考
6	ANC	DB	D 35		635	7.51	4.77	29	SD345		購入	ブラケット
6	1種	NUT	M 33			0.291	0.29	2	SS400		購入	ブラケット
6	3種	NUT3	M 33			0.241	0.24	1	SS400		購入	ブラケット
6		WASH	M 33			0.085	0.09	1	SS400		購入	ブラケット
G1												
33 kg												
A1落橋防止												

HDZT49 小古曽A1落防 A1落橋防止 G4												
員数	部材名	材種	断 面		長さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
6	ANC	DB	D 35		635	7.51	4.77	29	SD345		購入	ブラケット
6	1種	NUT	M 33			0.291	0.29	2	SS400		購入	ブラケット
6	3種	NUT3	M 33			0.241	0.24	1	SS400		購入	ブラケット
6		WASH	M 33			0.085	0.09	1	SS400		購入	ブラケット

A1落橋防止										
66 kg										
小古曽A1落防										
66 kg										
HDZT49										
66 kg										
HDZT77 小古曽A1落防 A1落橋防止 G1										

員数	部材名	材種	断面		長さ	単位重量	単品重量	重量	材質	ネット	要素	備考
1	Base	PL	500 x	25	750	196.3	73.6	74	SM400A		小型	ブラケット
1	Top	PL	380 x	25	710	196.3	35.5	35	SM400A	67	小型	ブラケット
2	Ring	PL	260 x	22	260	172.7	8.6	17	SM400A	74	小型	ブラケット
4	Rib	PL	150 x	22	218	172.7	5.65	23	SM400A		小型	ブラケット
G1												
149 kg												
A1落橋防止												

HDZT77 小古曽A1落防 A1落橋防止 G4												
員数	部材名	材種	断 面		長さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
1	Base	PL	500	x	25	750	196.3	73.6	74	SM400A	小型	ブラケット
1	Top	PL	380	x	25	710	196.3	35.5	35	SM400A	67 小型	ブラケット
2	Ring	PL	260	x	22	260	172.7	8.6	17	SM400A	74 小型	ブラケット
4	Rib	PL	150	x	22	218	172.7	5.65	23	SM400A	小型	ブラケット
G1												
149 kg												
A1落橋防止												
298 kg												
小古曽A1落防												
298 kg												
HDZT77												
298 kg												

材料計算書

(単位:mm,kg)

小古曽P1落防 P1落橋防止 起点側 G1												
員数	部材名	材種	断 面		長さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
2		PL	78	x	22	353	172.7	4.76	10 SM400A		小型	ブラケット
2		PL	300	x	22	353	172.7	18.3	37 SM400A		小型	ブラケット
2		PL	123	x	22	340	172.7	7.22	14 SM400A		小型	ブラケット
1		PL	180	x	22	290	172.7	9.01	9 SM490A		小型	ブラケット
1		PL	130	x	22	180	172.7	4.04	4 SM490A		小型	ブラケット
1		PL	363	x	22	470	172.7	29.5	30 SM400A		小型	ブラケット
1		PL	440	x	28	500	219.8	48.4	48 SM490YB		小型	ブラケット
1		PL	600	x	9	660	70.65	28.0	28 SM400A		小型	ブラケット
3 2W		TCB	M22	x	125			0.688	2 S10T		購入	ブラケット
2		TCB	M22	x	120			0.673	1 S10T		購入	ブラケット
10		TCB	M22	x	65			0.508	5 S10T		購入	ブラケット
G1					188 kg							
2@ G1					376 kg							

小古曽P1落防 P1落橋防止 起点側 G4												
員数	部材名	材種	断面		長さ	単位重量	単品重量	重量	材質	ネット	要素	備考
2		PL	78	x	22	353	172.7	4.76	10 SM400A		小型	ブラケット
2		PL	300	x	22	353	172.7	18.3	37 SM400A		小型	ブラケット
2		PL	123	x	22	340	172.7	7.22	14 SM400A		小型	ブラケット
1		PL	180	x	22	290	172.7	9.01	9 SM490A		小型	ブラケット
1		PL	130	x	22	180	172.7	4.04	4 SM490A		小型	ブラケット
1		PL	363	x	22	470	172.7	29.5	30 SM400A		小型	ブラケット
1		PL	440	x	28	500	219.8	48.4	48 SM490YB		小型	ブラケット
1		PL	600	x	9	660	70.65	28.0	28 SM400A		小型	ブラケット
3 2W		TCB	M22	x	125			0.688	2 S10T		購入	ブラケット
2		TCB	M22	x	120			0.673	1 S10T		購入	ブラケット
10		TCB	M22	x	65			0.508	5 S10T		購入	ブラケット
					G4		188 kg					
					2@ G4		376 kg					
					起点側		752 kg					

材料計算書

(単位:mm,kg)

小古曽P1落防 P1落橋防止 終点側 G1												
員数	部材名	材種	断 面		長さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	形状	要素	備 考
2		PL	78	x	22	353	172.7	4.76	10 SM400A		小型	ブラケット
2		PL	300	x	22	353	172.7	18.3	37 SM400A		小型	ブラケット
2		PL	123	x	22	340	172.7	7.22	14 SM400A		小型	ブラケット
1		PL	180	x	22	290	172.7	9.01	9 SM490A		小型	ブラケット
1		PL	130	x	22	180	172.7	4.04	4 SM490A		小型	ブラケット
1		PL	363	x	22	470	172.7	29.5	30 SM400A		小型	ブラケット
1		PL	440	x	28	500	219.8	48.4	48 SM490YB		小型	ブラケット
1		PL	600	x	9	660	70.65	28.0	28 SM400A		小型	ブラケット
3 2W		TCB	M22	x	125			0.688	2 S10T		購入	ブラケット
2		TCB	M22	x	120			0.673	1 S10T		購入	ブラケット
10		TCB	M22	x	65			0.508	5 S10T		購入	ブラケット
					G1		188 kg					
					2@ G1		376 kg					

小古曽P1落防 P1落橋防止 起点側 G4												
員数	部材名	材種	断 面		長さ	単位重量	単品重量	重 量	材 質	ネット	要素	備 考
2		PL	78	x	22	353	172.7	4.76	10 SM400A		小型	ブラケット
2		PL	300	x	22	353	172.7	18.3	37 SM400A		小型	ブラケット
2		PL	123	x	22	340	172.7	7.22	14 SM400A		小型	ブラケット
1		PL	180	x	22	290	172.7	9.01	9 SM490A		小型	ブラケット
1		PL	130	x	22	180	172.7	4.04	4 SM490A		小型	ブラケット
1		PL	363	x	22	470	172.7	29.5	30 SM400A		小型	ブラケット
1		PL	440	x	28	500	219.8	48.4	48 SM490YB		小型	ブラケット
1		PL	600	x	9	660	70.65	28.0	28 SM400A		小型	ブラケット
3 2W		TCB	M22	x	125			0.688	2 S10T			ブラケット
2		TCB	M22	x	120			0.673	1 S10T			ブラケット
10		TCB	M22	x	65			0.508	5 S10T			ブラケット
					G4	188 kg						
					2@ G4	376 kg						
					終点側	752 kg						
					P1落橋防止	1504 kg						
					小古曽P1落防	1504 kg						

小古曾P1落防 P1落橋防止 起点側 G1

員数		部材名	材種	断面		長さ	枚数	面積		塗装面積				備考		
2		PL	78	x	22	353	0.06	C-5	0.12				K	0.12	上部エラストマ	
2		PL	300	x	22	353	0.21	C-5	0.42				K	0.42	上部エラストマ	
2		PL	123	x	22	340	0.08	C-5	0.16				K	0.16	上部エラストマ	
1		PL	180	x	22	290	0.10	C-5	0.10				K	0.10	上部エラストマ	
1		PL	130	x	22	180	0.05	C-5	0.05				K	0.05	上部エラストマ	
1		PL	363	x	22	470	0.34	C-5	0.34				K	0.34	上部エラストマ	
1		PL	440	x	28	500	-								控除	
1		PL	600	x	9	660	0.79	C-5	0.40			J	0.40	KR	0.79	上部エラストマ
3	2W	TCB	M22	x	125		0.02			F-11B						上部エラストマ
2		TCB	M22	x	120		0.01			F-11B						上部エラストマ
10		TCB	M22	x	65		0.05			F-11B						上部エラストマ
				G1		C-5	1.59	J		0.40	F-11		F-11B	0.08	KR	0.40
						K	1.98									
				2@ G1		C-5	3.17	J		0.79	F-11		F-11B	0.16	KR	0.79
						K	3.96									

小古曾P1落防 P1落橋防止 起点側 G4

員数			部材名	材種	断面		長さ	ネット	面積	塗装面積					備考					
2			PL		78	x	22	353	0.06	C-5	0.12				K	0.12	上部エラスト			
2			PL		300	x	22	353	0.21	C-5	0.42				K	0.42	上部エラスト			
2			PL		123	x	22	340	0.08	C-5	0.16				K	0.16	上部エラスト			
1			PL		180	x	22	290	0.10	C-5	0.10				K	0.10	上部エラスト			
1			PL		130	x	22	180	0.05	C-5	0.05				K	0.05	上部エラスト			
1			PL		363	x	22	470	0.34	C-5	0.34				K	0.34	上部エラスト			
1			PL		440	x	28	500	-								控除			
1			PL		600	x	9	660	0.79	C-5	0.40			J	0.40	KR	0.40	上部エラスト		
3	2W		TOB		M22	x	125		0.02			F-11B						上部エラスト		
2			TOB		M22	x	120		0.01			F-11B			0.01			上部エラスト		
10			TOB		M22	x	65		0.05			F-11B			0.05			上部エラスト		
G4										C-5	1.59	J		0.40	F-11		F-11B	0.08	KR	0.40
										K	1.98									
2@ G4										C-5	3.17	J		0.79	F-11		F-11B	0.16	KR	0.79
										K	3.96									
起点側										C-5	6.34	J		1.58	F-11		F-11B	0.32	KR	1.58
										K	7.92									

小古曽P1落防 P1落橋防止 終点側 G1															
員数	部材名	材種	断 面	長 さ	ネット	面積	塗 装 面 積					備 考			
2		PL	78 x	22	353	0.06	C-5	0.12					K	0.12	上部エラゲホ
2		PL	300 x	22	353	0.21	C-5	0.42					K	0.42	上部エラゲホ
2		PL	123 x	22	340	0.08	C-5	0.16					K	0.16	上部エラゲホ
1		PL	180 x	22	290	0.10	C-5	0.10					K	0.10	上部エラゲホ
1		PL	130 x	22	180	0.05	C-5	0.05					K	0.05	上部エラゲホ
1		PL	363 x	22	470	0.34	C-5	0.34					K	0.34	上部エラゲホ
1		PL	440 x	28	500	-									控除
1		PL	600 x	9	660	0.79	C-5	0.40			J	0.40	KR	0.40	K
3.2W		TCB	M22 x	125		0.02					F-11B	0.02			上部エラゲホ
2		TCB	M22 x	120		0.01					F-11B	0.01			上部エラゲホ
10		TCB	M22 x	65		0.05					F-11B	0.05			上部エラゲホ
G1															
						C-5	1.59	J		0.40	F-11		F-11B	0.08	KR
						K	1.98								
2@ G1															
						C-5	3.17	J		0.79	F-11		F-11B	0.16	KR
						K	3.96								

小古曽P1落防 P1落橋防止 終点側 G4																
員数	部材名	材種	断 面	長 さ	ネット	面積	塗 装 面 積				備 考					
2		PL	78 x	22	353	0.06	C-5	0.12				K	0.12	上部エラゲホ		
2		PL	300 x	22	353	0.21	C-5	0.42				K	0.42	上部エラゲホ		
2		PL	123 x	22	340	0.08	C-5	0.16				K	0.16	上部エラゲホ		
1		PL	180 x	22	290	0.10	C-5	0.10				K	0.10	上部エラゲホ		
1		PL	130 x	22	180	0.05	C-5	0.05				K	0.05	上部エラゲホ		
1		PL	363 x	22	470	0.34	C-5	0.34				K	0.34	上部エラゲホ		
1		PL	440 x	28	500	-								控除		
1		PL	600 x	9	660	0.79	C-5	0.40		J	0.40	KR	0.40	上部エラゲホ		
3 2W		TCB	M22 x	125		0.02			F-11B	0.02				上部エラゲホ		
2		TCB	M22 x	120		0.01			F-11B	0.01				上部エラゲホ		
10		TCB	M22 x	65		0.05			F-11B	0.05				上部エラゲホ		
G4																
						C-5	1.59	J		0.40	F-11		F-11B	0.08	KR	0.40
						K	1.98									
2@ G4																
						C-5	3.17	J		0.79	F-11		F-11B	0.16	KR	0.79
						K	3.96									
終点側																
						C-5	6.34	J		1.58	F-11		F-11B	0.32	KR	1.58
						K	7.92									
P1落橋防止																
						C-5	12.68	J		3.16	F-11		F-11B	0.64	KR	3.16
						K	15.84									
小古曽P1落防																
						C-5	12.68	J		3.16	F-11		F-11B	0.64	KR	3.16
						K	15.84									

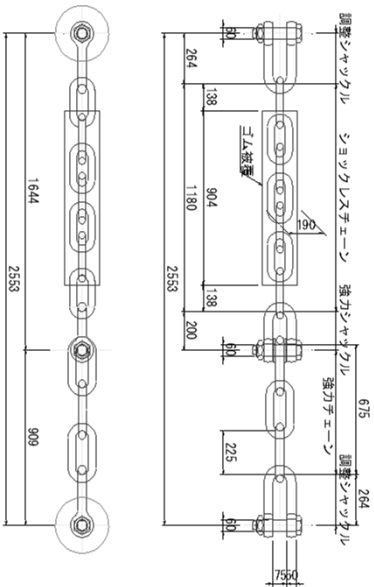
落橋防止構造(その他) 数量計算書

小古曾橋
その他数量集計表

工 種 ・ 種 別		単位	数 量			備 考	
			A1橋台	P1橋脚	A2橋台		合計
落橋防止構造	高力ボルト本締め工	本	44	120	-	164	
	表面処理工	m ²	0.75	-	-	0.75	
	鉄筋探査工	m ²	0.75	-	-	0.75	
	コンクリート削孔	本	12	-	-	12	
	アスカー注入工	本	12	-	-	12	
		m	6.42	-	-	6.4	
	樹脂注入工	m	6.42	-	-	6.4	
	落橋防止構造取付工	基	2	-	-	2	
		422kN用	-	4	-	4	
		上部工側	基	2	8	-	10
アラケット取付工		基	2	-	-	2	
		下部工側	-	-	-	-	
		φ24.5	箇所	120	-	120	
		φ26.5	箇所	44	-	44	
現場孔明工							
不陸調整材	樹脂パテ材（γ=1700kg/m ³ ）	kg	6.375	-	-	6.375	
シーリング材	△20mm×20mm	m	4.010	-	-	4.010	

落橋防止構造
A1橋台 G1, G4

(1) 落橋防止構造設置工
緩急チェーン5型3リンク，許容荷重 825kNタイプ
= 2 基



1-シヨックレスチェーン 5型 (SOM420H)
3-強カチェーンφ42 (SOM420H)
2-調整シャックルφ50 (SOM435)
1-強カシャックルφ50 (SOM435)

(2) アンカーボルト設置工

1). 表面処理工

横向き

下部工側 G1、G4
A = 0.500 x 0.750 x 2 基
= 0.75 m2

2). 鉄筋探査工

横向き 表面処理面積と同じ
ΣA = 0.75 m2

3). コンクリート≡ (コアボーリング)

横向き

下部工側
φ 45 x 535 n = 6 x 2 基
= 12 孔
0.535 x 12 本
= 6.42 m

4). アンカー注入

横向き

下部工側
φ 45 x 535 n = 6 x 2 基
= 12 孔
0.535 x 12 本
= 6.42 m

5). エポキシ樹脂注入材

エポキシ樹脂注入材 (γ=1200kg/m³) (ロス率+15%)

横向き

φ 45 x 535 n = 6 x 2 基
= 12 孔
0.535 x 12 本
= 6.42 m

(3) プラケット取付工

上部工側									
n	=	2	基	x	1	箇所		=	2 基
下部工側									
n	=	2	基	x	1	箇所		=	2 基

(4) 現場孔明工

主桁補強

① φ 26.5 孔 (主桁WEB)	n =	8	x	1	基	x	2	箇所	=	16 箇所
② φ 26.5 孔 (主桁L.FLG)	n =	14	x	1	基	x	2	箇所	=	28 箇所
Σ									=	44 箇所

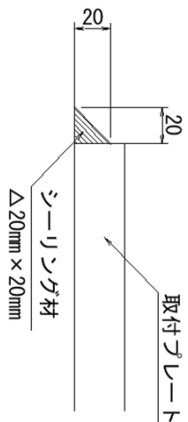
(5) 不陸調整材 樹脂パテ材 (γ=1700kg/m³)

G1, G4

A	=	0.500	x	0.750	x	2	箇所	=	0.750 m²
W	=	0.750	x	0.005	x	1700		=	6.375 kg

(6) シーリソグ材 △20mmx20mm

L	=	(	0.500	+	0.750	)	x	2	x	1	箇所	=	2.500 m
	=	(	0.750	+	0.005	)	x	2	x	1	箇所	=	1.510 m
合計												=	4.010 m



落橋防止構造
P1橋脚 G1, G4

(1) 落橋防止構造設置工
422kNタイプ L = 3152 mm = 4 基

材料表 (落橋防止構造1組当たり) 全4組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブ ル (マシヨソ) (ガイロバヤツ)	422kN 3152mm 422kN用 標準 422kN用 600mm	本 個 本	1 2 2	PG鋼より線、ポリエチレン被覆 SCM435、ねじきり標準 <ケーブルに組込> ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	422kN用	個	2	S45C: 亜鉛めっき (HDZ777)
止めプレート	422kN用	個	2	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZ777)
スクリン	422kN用 L=450	個	2	SW-C: 亜鉛めっき、クロメート処理
緩衝具	422kN用	個	2	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZ777) + 合成ゴム
偏向具	422kN用	個	2	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	16	SS400相当品: 亜鉛めっき (HDZ749) 接着剤付
保護キャップ	422kN用	組	2	ポリエチレン: 8-止めビス付

(2) プラケット取付工
上部工側
 $n = 2$ 基 $\times$ 4 箇所
= 8 基

(3) 現場孔明工
主桁補強
① ϕ 24.5 孔 (主桁WEB) n = 30 x 2 基 x 2 箇所 = 120 箇所

水平力分担構造 数量計算書 (小古曾橋)

数量総括表(小古管種)

名 称	規 格	単位	数 量					備 考
			A1橋台	P1橋脚A1側	P1橋脚A2側	A2橋台	合計	
水平分分担構造設置工		箇所	6	4	4	-	14	
工場製作・製品購入								
取付金具等								
鋼 板	SM490C	105		96			96	
		100	60		44	-	104	
		55		1,240			1,240	
		45				-	0	
		鋼重小計	60	1,336	44	-	1,440	
		(材片数)	(6)	(8)	(4)	-	(18)	
	SM490B	38		200			200	
		28		726	508		1,234	
		鋼重小計	726	516	580	-	1,822	
		(材片数)	(6)	(16)	(8)	-	(30)	
	SM490A	25				-	0	
		22		84	68		152	
		鋼重小計	84	68	0	-	152	
		(材片数)	(6)	(8)	(0)	-	(14)	
	SM400A	28		132	88	-	220	
		25			68	-	68	
		22		226	0	-	338	
		鋼重小計	358	0	268	-	626	
		(材片数)	(30)	(0)	(20)	-	(50)	
	SS400	28			228		228	
		25				-	0	
		23			167		167	
		22	138	7	112	-	257	
		18				-	0	
		17				-	0	
		16				-	0	
		14			24		24	
		13			39		87	
		12		48			24	
	S10T	鋼重小計	210	402	175	-	787	
		(材片数)	(22)	(14)	(14)	-	(50)	
		鋼重合計	1,438	2,322	1,067	-	4,827	
		(材片数合計)	(70)	(46)	(46)	-	(162)	
ホルシア系高カボルト (T・C・B)	M22 × 80	本	10			-	10	(2W)
			16			-	16	
		M22 × 105	12	12	12	-	36	(2W)
		本	16	16	16	-	48	
	M22 × 115	kg	66		52	-	118	
		本	96		80	-	176	
						-	0	
		本				-	0	
	M24 × 155	kg		96		-	96	
		本		96		-	96	
アンカーボルト	合計	kg	88	108	64	-	260	
		本	128	112	96	-	336	
		D25 × 500L				-	24	
		本	24			-	48	
	SD345	D25 × 505L			16	-	16	
		kg		32	32	-	32	
		本		96		-	96	
		D29 × 570L				-	40	
	SS400	M24 (1種)	24		16	-	40	
		kg	6		4	-	10	
ナット(アンカー用)	SS400	M24 (3種)	24		16	-	40	
		kg	6		4	-	10	
		M27 (1種)		32		-	32	
		kg		8		-	8	
ワッシャー(アンカー用)	SS400	M27 (3種)		32		-	32	
		kg		4		-	4	
		M24	24		16	-	40	
		kg	6	32	4	-	10	

数量総括表(小古管構)

名 称	規 格	単位	数 量				備 考
			A1橋台	P1橋脚A1側	P1橋脚A2側	A2橋台	
塗装工							
工場塗装(G-5) (鋼材重量)		kg	1294	2026	951	—	下塗り工費付ケラフナクモ鉄骨(鋼材重量) (鋼材重量+消磁面鉛メッキ工費+補修材料重量)
(塗装面積)	素地調整	m ²	12,049	13,420	8,872	—	プライム処理
	防食処理	m ²	12,049	13,420	8,872	—	無機ジノクリツチベント
	ミストコート	m ²	5,396	5,554	3,686	—	エポキシ樹脂塗料下塗り
	下塗り	m ²	5,396	5,554	3,686	—	14,636 エポキシ樹脂塗料下塗り
	中塗り	m ²	5,396	5,554	3,686	—	14,636 エポキシ樹脂塗料中塗り
	上塗り	m ²	5,396	5,554	3,686	—	14,636 ふっ素樹脂塗料上塗り
	既設部材素地調整	m ²	1,336	1,374	0,998	—	3,708 3種アレン
	素地調整	m ²	0,648	0,676	0,486	—	1,810 2種アレン
	ミストコート	m ²	0,648	0,676	0,486	—	変性エポキシ樹脂塗料下塗り
	下塗り(2回)	m ²	0,648	0,676	0,486	—	1,810 超厚膜形エポキシ樹脂塗料
現場塗装(F-11)	中塗り	m ²	0,648	0,676	0,486	—	1,810 ふっ素樹脂塗料中塗り
	上塗り	m ²	0,648	0,676	0,486	—	1,810 ふっ素樹脂塗料上塗り
溶融亜鉛メッキ工							
溶融亜鉛メッキ工(工場塗装)	HD2T77	kg	144	296	116	—	556 鋼製梁台
溶融亜鉛メッキ	HD2T49	kg	30	38	20	—	88 ボルト類
PRF緩衝ビニ							
PRF緩衝ビニ	S45CN φ80 × 270	本				—	—
ナット	SS400 M76 (1種)	個				—	—
ワッシャー	SS400 φ200 × 19t	枚				—	— φ84孔
スベークー	ユム φ200 × 30t	枚				—	— φ121孔
割リビニ	SUS304 φ10 × 110	本				—	—
PRF緩衝ビニ	S45CN φ70 × 245	本				4	4
ナット	SS400 M68 (1種)	個				4	4
ワッシャー	SS400 φ190 × 19t	枚				4	4 φ74孔
スベークー	ユム φ190 × 30t	枚				4	4 φ111孔
割リビニ	SUS304 φ10 × 100	本			4		4
PRF緩衝ビニ	S45CN φ105 × 330	本					4
ナット	SS400 M100 (1種)	個		4			4
ワッシャー	SS400 φ260 × 25t	枚		4			4 φ109孔
スベークー	ユム φ260 × 30t	枚		4			4 φ171孔
割リビニ	SUS304 φ13 × 150	本			4		4
PRF緩衝ビニ	S45CN φ65 × 240	本	6				6
ナット	SS400 M64 (1種)	個	6				6
ワッシャー	SS400 φ180 × 19t	枚	6				6 φ89孔
スベークー	ユム φ180 × 30t	枚	6				6 φ101孔
割リビニ	SUS304 φ10 × 100	本	6				6
現場施工							
芯出し調整工	主桁下ワッゾ側 主桁ウエツ側	m ² m ²	0,759 0,600	0,984 0,400	0,608 0,400	— —	2,351 1,400
現場孔明工	下ワッゾ側 ウエツ側	箇所 箇所	48 32	48 16	40 16	— —	88 t=10mm 48 t=10mm 64 t=9mm
	合計	箇所	80	64	56	—	200
鉄筋探査		m ²	0,89	1,04	0,59	—	2,520
		m ²	0,90	1,04	0,60	—	2,540
下地処理(チツビソク)		本	24		16	—	目あらし程度
		m	9,24		6,16	—	15,40
アンカー筋削孔	φ35 × 385L	本		32		—	32
	φ39 × 445L	m		14,24		—	14,24
アンカー工	φ35 × 385L	本	24		16	—	40 下向き
	φ39 × 445L	本		32		—	32 下向き
樹脂系接着剤	φ39 × 445L	kg	5,37	9,38	3,58	—	18,33
台座調整モルタル工	エポキシ樹脂系(比重1.2)	m ³	0,05	0,04	0,03	—	0,115
型枠工		m ²	0,46	0,29	0,31	—	1,06
台座取付工		箇所	6	4	4	—	14
		kg	144	296	116	—	556
PRF緩衝ビニ取付工		本	6	4	4	—	14
連結板等取付工		kg	1,294	2,026	951	—	4,271
高力ボルト締付工	S10T M22	本	128	16	96	—	240
	M24	本		96		—	96

使用箇所	形	状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
フイラープレート		鋼種 : SS400						
G1(G2側)・G4(G3側)								
TYPE-1			設置数 = 2 基					
Fill	PL	80 × 12	360	1	7.5	3	SS400	
Fill	PL	80 × 12	360	1	7.5	3	SS400	
TYPE-2			設置数 = 2 基					
Fill	PL	80 × 12	790	1	7.5	6	SS400	
G2(G1側)・G3(G4側)								
TYPE-1			設置数 = 2 基					
Fill	PL	80 × 13	790	1	8.2	6	SS400	
TYPE-2			設置数 = 2 基					
Fill	PL	80 × 13	790	1	8.2	6	SS400	
G2(G3側)・G3(G2側)								
TYPE-1			設置数 = 2 基					
Fill	PL	80 × 13	360	1	8.2	3	SS400	
Fill	PL	80 × 13	360	1	8.2	3	SS400	
TYPE-2			設置数 = 2 基					
Fill	PL	80 × 13	790	1	8.2	6	SS400	
小計								
						72		

使用箇所	形 状		長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
添接板	鋼種 : SS400							
	設置数 = 6 基							
Spl	PL	170 × 22	790	1	29.4	23	SS400	
鋼製架台	鋼種 : SM490							
	設置数 = 6 基							
Base	PL	230 × 22	350	1	39.7	14	SM490A	
	PL	110 × 100	110	1	86.4	10	SM490C	(M64めねじ加工)
	アンカーボルト	D25 × 500		4	2.0	8	SD345	
	ナット1種	M24		4	0.110	1	SS400	
	ナット3種	M24		4	0.081	1	SS400	
	ワッシャー	M24		4	0.035	1	SS400	

使用箇所	形	状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
鋼材集計								
鋼材重量			t=100			60	SM490C	
			t=36			726	SM490B	
			t=22			84	SM490A	
			t=28			132	SM400A	
			t=22			226	SM400A	
			t=22			138	SS400	
			t=13			48	SS400	
			t=12			24	SS400	
					合計	1,438	kg	

塗装面積算出

A1橋台

名 称		形状(mm)		枚数	面	面積(m ²)	備考 (NET)	摘要
		幅	長さ					
工 場 塗 装	上部工取付金具							
	G1(G2側)・G2(G1・G3側)・G3(G2・G4側)・G4(G3側)							
	Top-PL	685	1418	6	2	5.129	44%	
					計	5.129		
	主桁補強材							
	G1(G2側)・G4(G3側)							
	Spl-PL	170	790	2	2	0.537	100%	
	Base-PL	200	250	4	2	0.400	100%	
	Rib-PL	142.5	280	4	2	0.319	100%	
	G2(G1側)・G3(G4側)							
	Spl-PL	170	790	2	2	0.537	100%	
	Base-PL	200	250	4	2	0.400	100%	
	Rib-PL	157.5	280	4	2	0.353	100%	
	G2(G3側)・G3(G2側)							
	Spl-PL	170	790	2	2	0.537	100%	
	Base-PL	200	250	4	2	0.400	100%	
	Rib-PL	157.5	280	4	2	0.353	100%	
					計	3.836		
C-5								
工 場 塗 装	フロースト処理・防食下地							
	フロープレート							
	G1(G2側)・G4(G3側)							
	TYPE-1							
	Fill-PL	80	360	2	2	0.115	100%	
	Fill-PL	80	360	2	2	0.115	100%	
	TYPE-2							
	Fill-PL	80	790	2	2	0.253	100%	
	TYPE-1							
	Fill-PL	80	790	2	2	0.253	100%	
	TYPE-2							
	Fill-PL	80	790	2	2	0.253	100%	
	G2(G3側)・G3(G2側)							
	TYPE-1							
	Fill-PL	80	360	2	2	0.115	100%	
	Fill-PL	80	360	2	2	0.115	100%	
	TYPE-2							
	Fill-PL	80	790	2	2	0.253	100%	
	添接板							
	Spl-PL	170	790	6	2	1.612	100%	
					計	3.084		
					計	12.049		
C-5								

[illegible]

種 別	計 算 式	単位	数 量
8. A1橋台 その他部材 数量計算			
現場孔明工			
下フランジ削孔			
	$\phi 24.5 \quad \times 8 = 48$	箇所	48
ウエズ削孔			
	$\phi 24.5 \quad \times 8 = 32$	箇所	32
現場孔明工合計			
		箇所	80
素地調整工(芯出し面積)			
主桁下フランジ側			
	$0.080 \times 0.790 \times 2 \times 6 = 0.759$	m ²	0.759
主桁ウエズ側			
	$0.200 \times 0.250 \times 2 \times 6 = 0.600$	m ²	0.600
アンカー筋削孔			
	$\phi 35 \times 385 \times 4本 \times 6 = 24$	本	24
	$0.385 \times 4本 \times 6 = 9.24$	m	9.24
樹脂接着剤(鉄筋定着)			
	$(0.035^2 \times \pi / 4 \times 0.385 - 0.025^2 \times \pi / 4 \times 0.375) \times 24$		
	$\times 1.200 = 5.366$	kg	5.37
		(1本あたり:0.224kg)	

種 別	計 算 式	単位	数 量
鉄筋探査			
	※鉄筋探査の範囲は、鋼製架台から+50mmの範囲で形状		
	0.330 × 0.450 × 6 = 0.891	m ²	0.89
台座調整モルタル工			
	中心厚さ		
G1(G2側)	0.330 × 0.450 × 0.048 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G2(G1側)	0.330 × 0.450 × 0.049 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G2(G3側)	0.330 × 0.450 × 0.049 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G3(G2側)	0.330 × 0.450 × 0.049 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G3(G4側)	0.330 × 0.450 × 0.049 × 1 = 0.008	m ³	0.008
G4(G3側)	0.330 × 0.450 × 0.048 × 1 = 0.008	m ³	0.008
	(合計)	m ³	0.05
型枠工			
G1(G2側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.048 × 1 = 0.070	m ²	0.07
G2(G1側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.049 × 1 = 0.080	m ²	0.08
G2(G3側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.049 × 1 = 0.080	m ²	0.08
G3(G2側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.049 × 1 = 0.080	m ²	0.08
G3(G4側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.049 × 1 = 0.080	m ²	0.08
G4(G3側)	(0.330 + 0.450) × 2 × 0.048 × 1 = 0.070	m ²	0.07
	(合計)	m ²	0.46
下地処理(チップング)			
	0.330 × 0.450 × 6 = 0.891	m ²	0.90

使用箇所	形	状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
5. P1橋脚A1側 数量計算								
(1) 鋼材重量								
上部工取付金具	鋼種 : SM490							
G2(G1側)・G3(G4側)	設置数 = 2 基							
Top	PL	745 × 55	1828	1	321.7	306	SM490C	N=52
G2(G3側)	設置数 = 1 基							
Top	PL	645 × 55	1828	1	278.5	275	SM490C	N=54
G3(G2側)	設置数 = 1 基							
Top	PL	895 × 55	1828	1	386.4	353	SM490C	N=50
					小計	1,240		

[illegible]

使用箇所	形	状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
鋼材集計								
鋼材重量			t=105			96	SM490C	
			t=55			1,240	SM490C	
			t=38			200	SM490B	
			t=28			316	SM490B	
			t=22			68	SM490A	
			t=28			228	SS400	
			t=23			167	SS400	
			t=22			7	SS400	
				合計		2,322	kg	

[illegible]

種 別	計 算 式	単位	数 量
6. P1橋脚A1側 その他部材 数量計算			
現場孔明工			
下フランジ削孔			
	$\phi 26.5 \quad 12 \times 4 = 48$	箇所	48
ウエブ削孔			
	$\phi 24.5 \quad 8 \times 2 = 16$	箇所	16
	現場孔明工合計	箇所	64
素地調整工(芯出し面積)			
	主桁下フランジ側		
	$0.100 \times 1.230 \times 2 \times 4 = 0.984$	m ²	0.984
	主桁ウエブ側		
	$0.200 \times 0.250 \times 2 \times 4 = 0.400$	m ²	0.400
アンカー筋削孔			
	$\phi 39 \times \phi 445 \quad 8本 \times 4 = 32$	本	32
	$0.445 \quad 8本 \times 4 = 14.24$	m	14.24
樹脂接着剤(鉄筋定着)			
	$(0.039^2 \times \pi / 4 \times 0.445 - 0.029^2 \times \pi / 4 \times 0.435) \times 32$		
	$\times 1.200 = 9.380$	kg	9.38
		(1本あたり:0.293kg)	

種 別	計 算 式	単位	数 量
鉄筋探査			
	※鉄筋探査の範囲は、鋼製架台から+50mmの範囲で形状		
	$0.510 \times 0.510 \times 4 = 1.040$	m ²	1.04
台座調整モルタル工			
	中心厚さ		
	$0.510 \times 0.510 \times 0.035 \times 4 = 0.037$	m ³	0.04
型砕工			
	$(0.510 + 0.510) \times 2 \times 0.035 \times 4 = 0.290$	m ²	0.29
下地処理(チップング)			
	$0.510 \times 0.510 \times 4 = 1.040$	m ²	1.04

使用箇所	形	状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要		
3. P1橋脚A2側 数量計算										
(1)鋼材重量										
上部工取付金具			鋼種 : SM490							
G2(G1・G3側)・G3(G2・G4側)										
Top	PL	600 × 36	設置数 = 4 基	1558	1	169.6	127	SM490B	N=48	
						小計	508			
主桁補強材				鋼種 : SM400						
G2(G1側)				設置数 = 1 基						
Spl	PL	170 × 22	950	1	29.4	28	SM400A			
Base	PL	200 × 28	250	2	44.0	22	SM400A			
Rib	PL	157.5 × 25	280	2	30.9	17	SM400A			
トルシア形高カボルト				TCB M22(2W)	105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高カボルト				TCB M22	115	20	0.658	13	S10T	
G2(G3側)				設置数 = 1 基						
Spl	PL	170 × 22	950	1	29.4	28	SM400A			
Base	PL	200 × 28	250	2	44.0	22	SM400A			
Rib	PL	157.5 × 25	280	2	30.9	17	SM400A			
トルシア形高カボルト				TCB M22(2W)	105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高カボルト				TCB M22	115	20	0.658	13	S10T	
G3(G4側)				設置数 = 1 基						
Spl	PL	170 × 22	950	1	29.4	28	SM400A			
Base	PL	200 × 28	250	2	44.0	22	SM400A			
Rib	PL	157.5 × 25	280	2	30.9	17	SM400A			
トルシア形高カボルト				TCB M22(2W)	105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高カボルト				TCB M22	115	20	0.658	13	S10T	
G3(G4側)				設置数 = 1 基						
Spl	PL	170 × 22	950	1	29.4	28	SM400A			
Base	PL	200 × 28	250	2	44.0	22	SM400A			
Rib	PL	157.5 × 25	280	2	30.9	17	SM400A			
トルシア形高カボルト				TCB M22(2W)	105	4	0.68	3	S10T	2W
トルシア形高カボルト				TCB M22	115	20	0.658	13	S10T	
トルシア形高カボルト				TCB M22	115	20	0.658	13	S10T	
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計										
小計									</	

使用箇所	形	状	長さ	数量	単重 kg/m	重量 kg	材質	摘要
鋼材集計								
鋼材重量			t=100			44	SM490C	
			t=36			508	SM490B	
			t=28			72	SM490B	
			t=28			88	SM400A	
			t=25			68	SM400A	
			t=22			112	SM400A	
			t=22			112	SS400	
			t=14			24	SS400	
			t=13			39	SS400	
					合計	1,067	kg	

名 称	形状(mm)		枚数	面	面積(m ²)	備考 (NET)	摘要
	幅	長さ					
工 場 塗 装 C-5	プラスチック処理・防食下地						
	フイラープレート						
	G2(G1側)						
	TYPE-1						
	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
	TYPE-2						
	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
	G2(G3側)						
	TYPE-1						
	Fill-PL	80	520	1	2	0.083	100%
	Fill-PL	80	360	1	2	0.058	100%
	TYPE-2						
	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
	G3(G2側)						
	TYPE-1						
	Fill-PL	80	360	1	2	0.058	100%
	Fill-PL	80	520	1	2	0.083	100%
	TYPE-2						
	TYPE-2						
	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
	G3(G4側)						
	TYPE-1						
	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
	TYPE-2						
	Fill-PL	80	950	1	2	0.152	100%
	添接板						
	Spl-PL	170	950	4	2	1.292	100%
				計	2.486		
				計	8.872		

[illegible]

種 別	計 算 式	単位	数 量
4. P1橋脚A2側 その他部材 数量計算			
現場孔明工			
下フランジ削孔			
	$\phi 24.5 \quad 10 \times 4 = 40$	箇所	40
ウエジ削孔			
	$\phi 24.5 \quad 8 \times 2 = 16$	箇所	16
	現場孔明工合計	箇所	56
素地調整工 (芯出し面積)			
	主桁下フランジ側		
	$0.080 \times 0.950 \times 2 \times 4 = 0.608$	m ²	0.608
	主桁ウエジ側		
	$0.200 \times 0.250 \times 2 \times 4 = 0.400$	m ²	0.400
アンカー筋削孔			
	$\phi 35 \quad 385 \times 4本 \times 4 = 16$	本	16
	$0.385 \quad 4本 \times 4 = 6.16$	m	6.16
樹脂接着剤 (鉄筋定着)			
	$(0.035^2 \times \pi / 4 \times 0.385 - 0.025^2 \times \pi / 4 \times 0.375) \times 16$		
	$\times 1,200 = 3.578$	kg	3.58
		(1本あたり:0.224kg)	

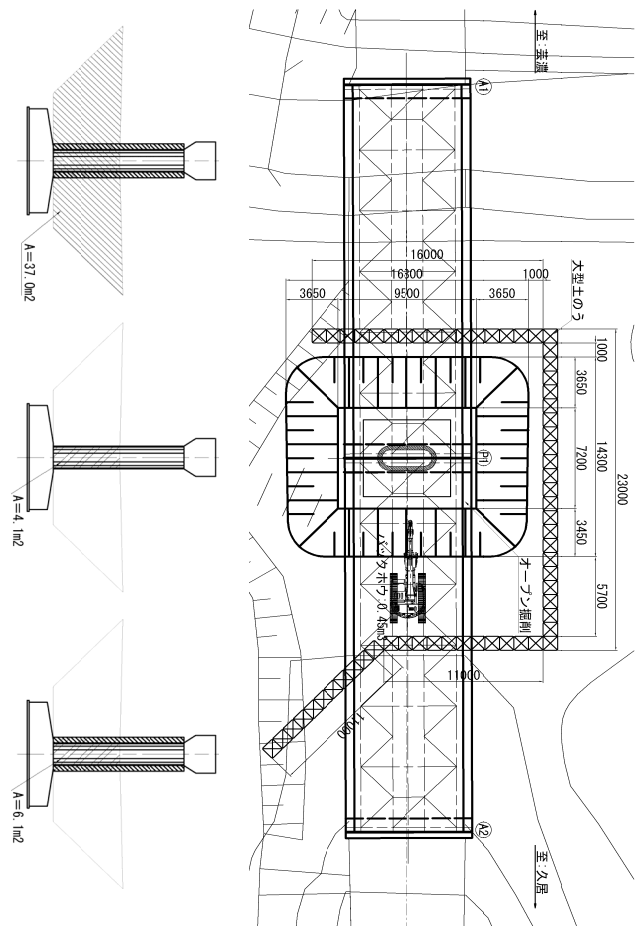
種 別	計 算 式	単位	数 量
鉄筋探査			
	※鉄筋探査の範囲は、鋼製架台から+50mmの範囲で形状		
	$0.330 \times 0.450 \times 4 = 0.594$	m ²	0.59
台座調整モルタル工			
	中心厚さ		
	$0.330 \times 0.450 \times 0.049 \times 4 = 0.030$	m ³	0.03
型枠工			
	$(0.330 + 0.450) \times 2 \times 0.049 \times 4 = 0.310$	m ²	0.31
下地処理(チップング)			
	$0.330 \times 0.450 \times 4 = 0.594$	m ²	0.60

小古曾橋P1橋脚補強數量計算書

数量集計表

工種	種 別・規 格	区 分	単位	数 量	摘 要
作業土工	床掘り		m3	472.2	
	埋戻し		m3	465.2	
	土材料		m3	53.5	
	積込		m3	516.9	
	土砂等運搬		m3	989.1	
コンクリート工	σ _{ck} =24N/mm ²	柱	m3	19.4	
		合 計	m3	19.4	
型枠工	一般型枠 円型型枠	柱	m2	68.7	
		合 計	m2	68.7	
鉄筋工	鉄筋構造物 SD345	D13	kg	0	
		D16～D25	kg	1268	
		D29	kg	0	
		D32	kg	0	
		D51	kg	7787	
		合 計	kg	9055	
		D51	箇所	34	
		D22	箇所	86	
PC鋼棒	SBPR930/180	φ 32 L=1.7m	本	18	
コンクリート 表面処理工		柱	m2	55.3	
		底版	m2	3.3	
		合 計	m2	58.6	
		柱	m2	9.2	
鉄筋探索工		底版	m2	3.3	
		合 計	m2	12.5	
		シール材	m3	0.004	
目地工	目地材	本数	箇所	34	
		削孔長	m/本	1.030	
		注入材	kg	37.2	
		本数	箇所	18	
		削孔長	m/本	1.200	
削孔工	柱部 鉛直削孔 φ 54 柱部 水平削孔 φ 42	注入材	kg	15.6	

根 拠 図



※床掘削面積についてはCAD上で計測した面積を用いる。

床掘り (オーブン掘削)

床掘全体(橋脚柱も含む)

$$V1 = 37.0 \times 9.500 + 37.0 \times 3.650 / 2 \times 2 = 486.6 \text{ (m3)}$$

補強前柱体積

$$V2 = 4.1 \times 3.500 = 14.4 \text{ (m3)}$$

補強後柱体積

$$V3 = 6.1 \times 3.500 = 21.4 \text{ (m3)}$$

床掘り土量

$$V = V1 - V2 = 486.6 - 14.400 = 472.2 \text{ (m3)}$$

埋戻し土量

$$V' = V1 - V3 = 486.6 - 21.400 = 465.2 \text{ (m3)}$$

土材料 (購入土)

$$V'' = (465.2 - 472.2 \times 0.9 \times 1.33 = 53.49 \text{ (m3)})$$

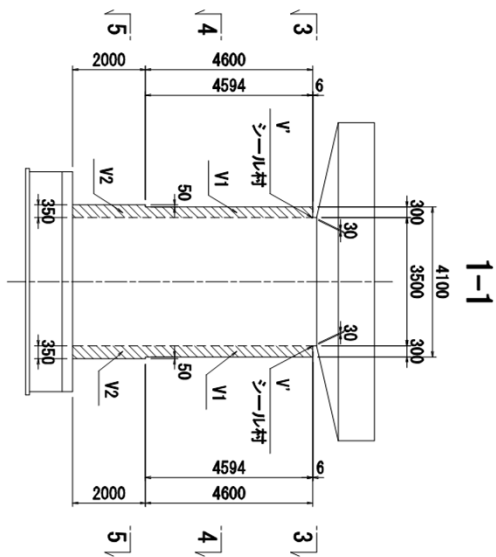
積込

$$V = 465.2 / 0.9 = 516.89 \text{ (m3)}$$

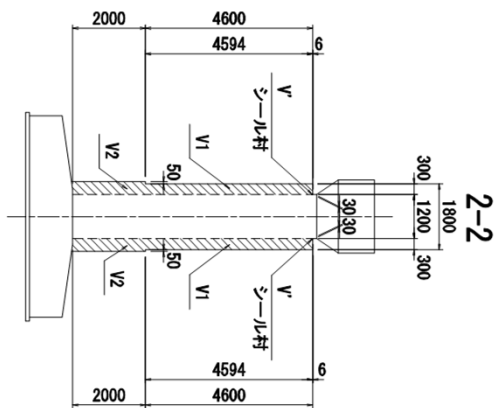
土砂等運搬

$$V = 472.2 + 465.2 / 0.9 = 989.09 \text{ (m3)}$$

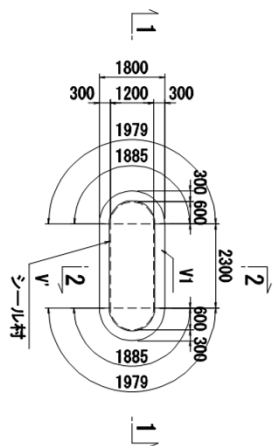
正面図



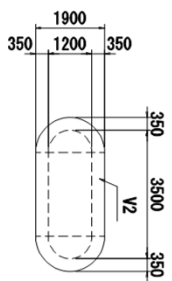
側面図



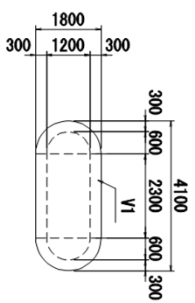
平面図
3-3



平面図
5-5



平面図
4-4



鉄筋構造物：σck=24N/mm2

1. 柱

RC巻立て補強 (t=300mm)

$$\begin{aligned} V1 = & \left(2.30 \times 0.30 \times 2 + \right. \\ & \left. \pi/4 \times 1.80^2 - \pi/4 \times 1.20^2 \right) \times \\ & 1/2 \times (4.60 + 4.59) \end{aligned} = 12.8 \text{ m}^3$$

目地控除

$$\begin{aligned} V' = & 1/2 \times 0.03 \times 0.03 \times 1/2 \times (\\ & 1.98 + 1.89) \times 2 + \\ & 1/2 \times 0.03 \times 0.03 \times 2.30 \times \\ & 2 \end{aligned} = 0.004 \text{ m}^3$$

RC巻立て補強 (t=350mm)

$$\begin{aligned} V2 = & \left(2.30 \times 0.35 \times 2 + \right. \\ & \left. \pi/4 \times 1.90^2 - \pi/4 \times 1.20^2 \right) \times \\ & 2.00 \end{aligned} = 6.6 \text{ m}^3$$

V=

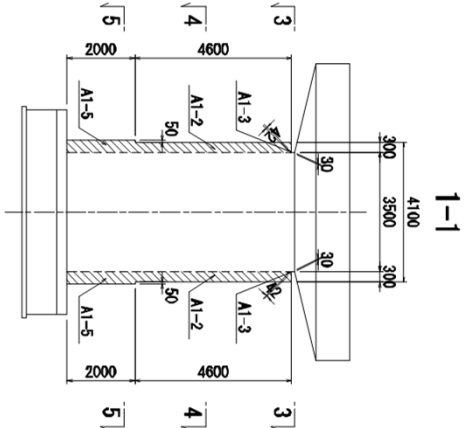
19.4

m3

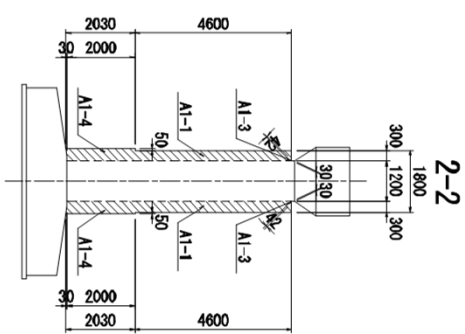
コンクリート工合計 (m3)

部 位	数 量
柱	19.4
合 計	19.4

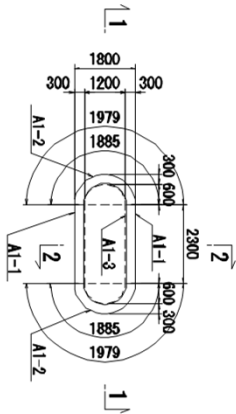
正面图



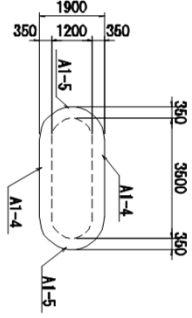
侧面图



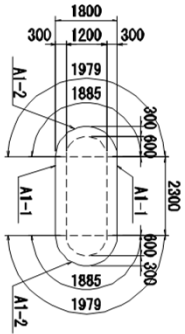
平面图



平面图



平面图



鉄筋構造物：

1. 柱

RC巻立て補強 (t=300mm)

一般型枠

A1-1 = 2.30 × 4.60 × 2 = 21.2 m2

円型型枠

A1-2 = π × 1.80 × 4.60 = 26.0 m2

一般型枠, 円型型枠

A1-3 = 0.04 × [1/2 × (1.98 + 1.89) ×

2 + 2.30 × 2] = 0.3 m2

RC巻立て補強 (t=350mm)

一般型枠

A1-4 = 2.30 × 2 × 2.03 = 9.3 m2

円型型枠

A1-5 = π × 1.90 × 2 = 11.9 m2

A1 = 68.7 m2

一般型枠 (計)

A= 30.8

円型型枠 (計)

A= 37.9

型枠工合計

(m2)

部 位	数 量
柱	68.7
合 計	68.7

鉄筋工

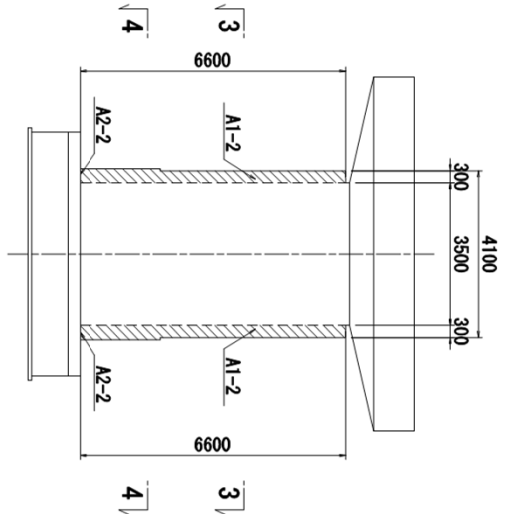
RC巻立て補強鉄筋

	鉄筋径		単位	質量	摘要
	D13		kg	-	SD345
鉄筋工	D16～D25	D16	〃	-	〃
		D19	〃	-	〃
		D22	〃	1, 268	〃
		D25	〃	-	〃
		小計	〃	1, 268	〃
	D29		〃	-	〃
	D32		〃	-	〃
	D51		〃	7, 787	〃
合計			〃	9, 055	〃
圧接継手		D51	箇所	34	〃
フリーダー溶接継手		D22	箇所	86	〃

コンクリート表面処理工

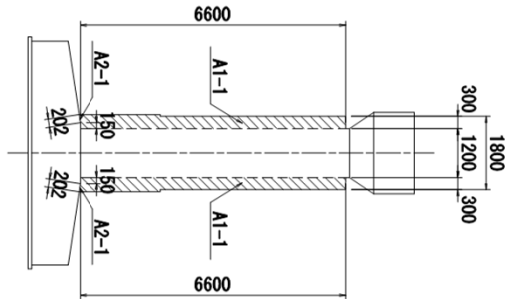
正面図

1-1



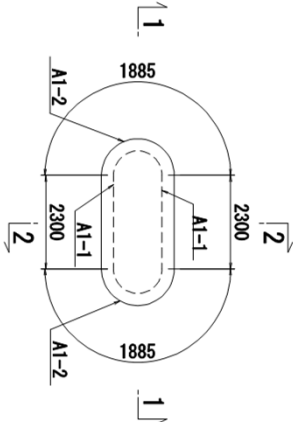
側面図

2-2



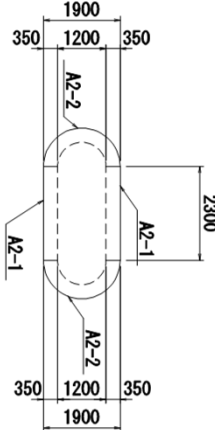
平面図

3-3



平面図

4-4



1. 柱

A1-1= 2.30 × 6.60 × 2 = 30.4 m²

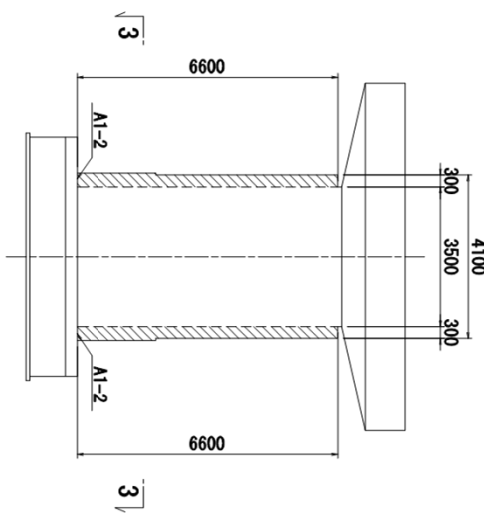
A1-2= 1.89 × 6.60 × 2 = 24.9 m²
A1 = 55.3 m²

2. 底版

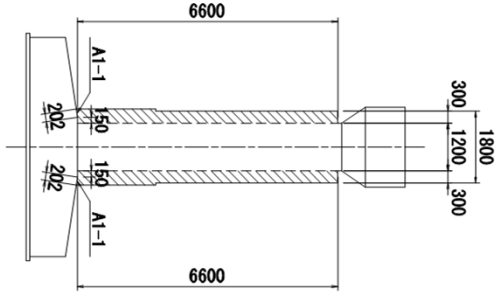
A2-1= 2.30 × 0.35 × 2 = 1.6 m²

A2-2= $\pi/4 \times 1.90^2 - \pi/4 \times 1.20^2$ = 1.7 m²
A2 = 3.3 m²

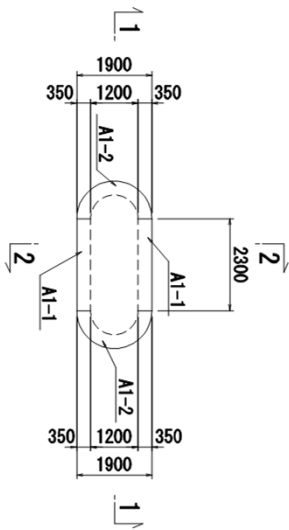
正面図
1-1



側面図
2-2



平面図
3-3



柱

AI-1 = 2.30 × 2.00 × 2 = 9.2 m²

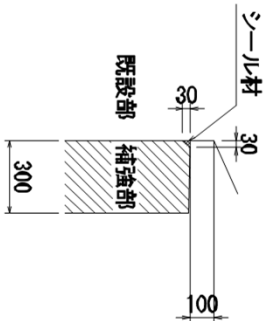
底板

AI-1 = 2.30 × 0.35 × 2 = 1.6 m²

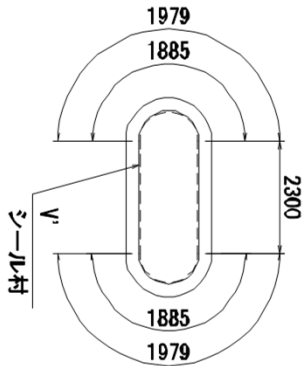
AI-2 = 0.35 × 1/2 × (π × 1.90 +

π × 1.20) = 1.7 m²
AI = 3.3 m²

a部詳細図 S=1:20



平面図



1. 目地材 (シーリング材) (t=30mm)

$$V' = \frac{1}{2} \times 0.03 \times 0.03 \times \frac{1}{2} \times (1.98 + 1.89) \times 2 + \frac{1}{2} \times 0.03 \times 0.03 \times 2.30 \times 2$$

= 0.004 m³

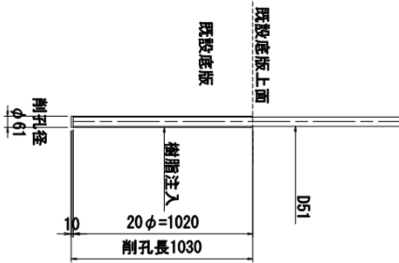
削孔工

1. 柱部

(1). 鉛直削孔

■ 削孔径 $\phi 54$

削孔工詳細図 S=1:20



1) 本数

n= 34 箇所

2) 削孔長

L= 20 ϕ +10 = 1.03 m

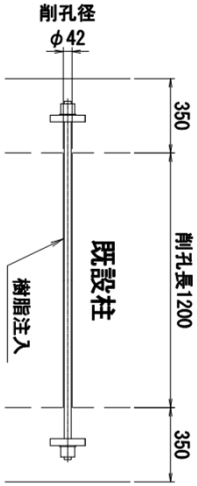
3) エポキシ系樹脂注入

V= $\pi/4 \times 0.061^2 \times 1.030 \times 34$ = 0.031 m³
— $\pi/4 \times 0.051^2 \times 1.020 \times 34$ = 37.2 kg
W= 0.031 $\times$ 1200 =

(2). 水平削孔

■ 削孔径 $\phi 42$

中間貫通削孔詳細図 S=1:20



1) 本数

n= 18 箇所

2) 削孔長

L= 1200mm = 1.20 m

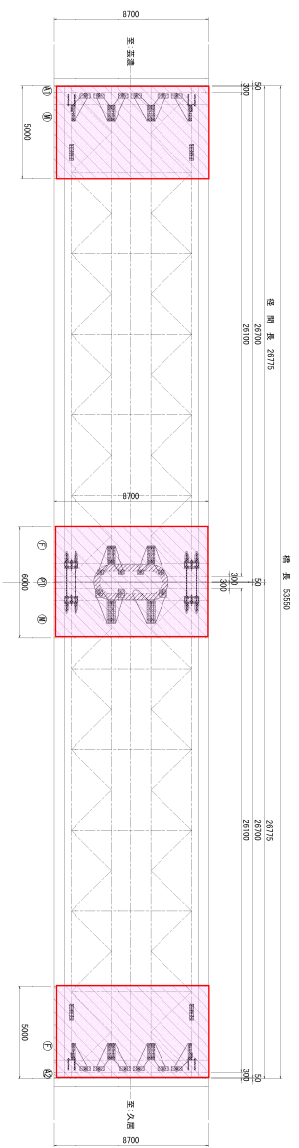
3) エポキシ系樹脂注入

V= $\pi/4 \times 0.042^2 \times 1.200 \times 18$ = 0.013 m³
— $\pi/4 \times 0.032^2 \times 1.200 \times 18$ = 15.6 kg
W= 0.013 $\times$ 1200 =

仮設工 数量計算書

数量集計表

工 種	種 別	規 格	単位	数 量	摘 要
仮設工					
足場工					
足場	吊足場	P1 A1	m2	95.7	落橋防止構造 他設置時
	足場		掛m2	136.0	橋脚補強時
工事用道路工					
工事用道路	整地	盛土	m3	447.1	
	山土		m3	536.5	
	積込		m3	447.1	
	大型土のう工	製作・設置・撤去	袋	114	
	土砂等運搬・残土等処分		m3	541.7	
	敷鉄板設置・撤去		m2	459.0	
	敷鉄板賃料		枚	99	
	防護柵撤去・設置		m	6.5	
土留・仮締切工					
仮締切工	大型土のう工		袋	61	
	土砂等運搬・残土等処分		m3	50.6	
水替工					
ポンプ排水	ポンプ設置・撤去		箇所	1	
	ポンプ運転		日	42	
交通管理工					
交通誘導警備員	交通誘導警備員B		人日	125	

[illegible]

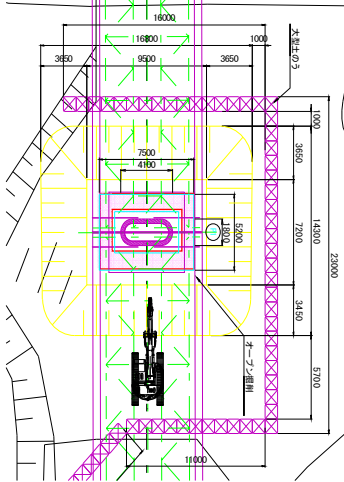
設置面積

設置延長(A2)

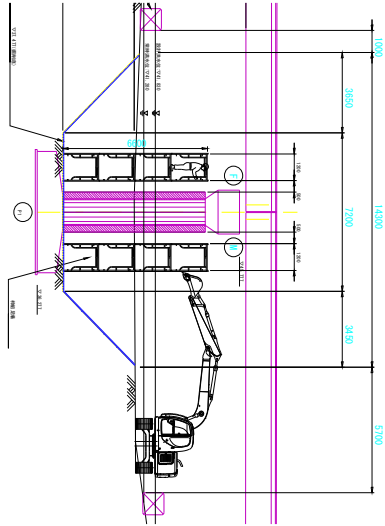
$$A = 8.7 \times (5.0 + 6.0 + 0.0) = 95.7 \text{ (m}^2\text{)}$$

枠組足場（橋脚補強時）

平面図



側面図



枠組足場

設置延長

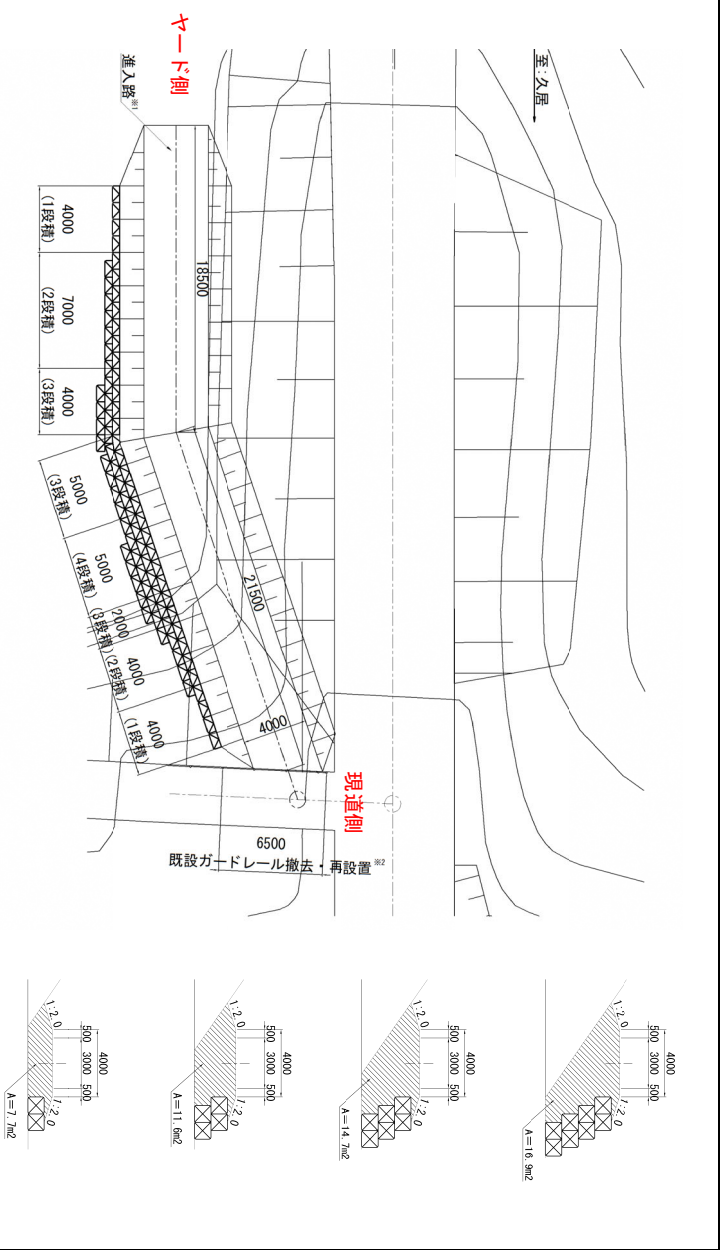
$$L = (4.1 + 1.8) \times 2 + 8.8 = 20.6 \text{ (m)}$$

設置面積

設置延長 足場高さ

$$A = 20.6 \times 6.6 = 136.0 \text{ (掛m}^2\text{)}$$

根拠図



※進入路の盛土面積についてはCAD上で計測した面積を用いる。

名称	距離 (m)	盛土(土砂)		単位	数量	備考
		断面積 (m ²)	平均 断面積 (m ²)			
整地						
現道側擦り付け	1.5	0.0 7.7	3.9	m ³	5.9	
進入路(1段積)	4.0	7.7	7.7	m ³	30.8	
(2段積)	4.0	11.6	11.6	m ³	46.4	
(3段積)	2.0	14.7	14.7	m ³	29.4	
(4段積)	5.0	16.9	16.9	m ³	84.5	
(3段積)	5.0	14.7	14.7	m ³	73.5	
(3段積)	4.0	14.7	14.7	m ³	58.8	
(2段積)	7.0	11.6	11.6	m ³	81.2	
(1段積)	4.0	7.7	7.7	m ³	30.8	
ヤード側擦り付け	4.0 0.0	7.7 0.0	3.9	m ³	5.9	
合計				m ³	447.1	

山土

V = 447.1 × 1.20
= 536.5 (m³)

積込

V = 447.1 (m³)

大型土のう (設置・撤去 工事用道路工)

大型土のうは、設置延長および大型土のう積段数より算出する。なお、大型土のうは1袋/mとして算出する。

n =	4.0	×	1段	+	4.0	×	2段	+
	2.0	×	3段	+	5.0	×	4段	+
	5.0	×	3段	+	4.0	×	4段	+
	5.0	×	3段	+	4.0	×	3段	+
	7.0	×	2段	+	4.0	×	1段	+
=	114	(袋)						

土砂等運搬及び残土等処分

V =	447.1	+	114.00	×	0.83
=	541.7	(m3)			

敷鉄板 (設置・撤去)

A =	459.0	(m2)
-----	-------	------

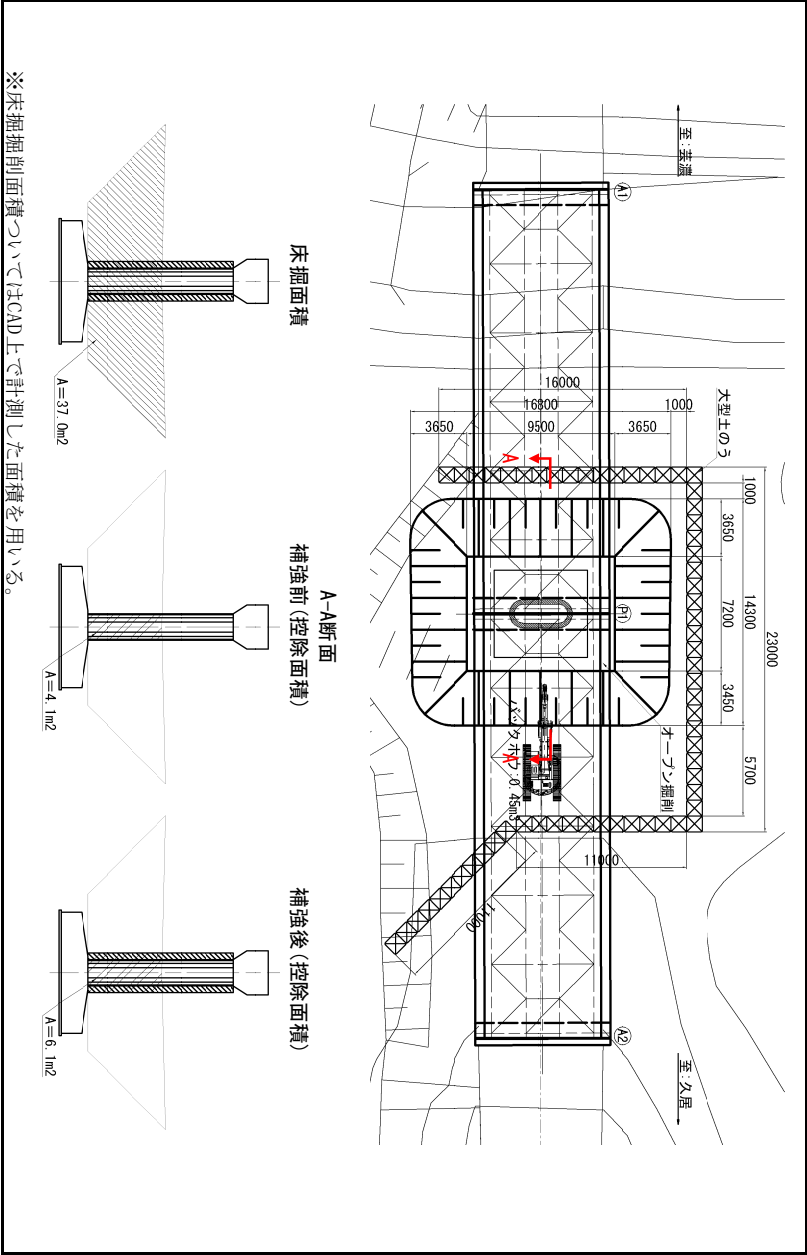
敷鉄板賃料

n =	459.0	/	3.048	/	1.524
=	99	(枚)			

防護柵撤去・設置

L =	6.5	(m)
-----	-----	-----

根 拠 図



大型土のう工 (橋脚周辺簡易締切)

大型土のうの設置延長は以下のとおり。

$$L = 11.0 + 11.0 + 23.0 + 16.0 = 61.0 \text{ (m)}$$

大型土のうは1袋/mとなるため、

$$n = 61 \text{ (袋)}$$

土砂等運搬及び残土等処分

$$V = 61.0 \times 0.83 = 50.6 \text{ (m}^3\text{)}$$

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
仕 様 関 係	☒ 共通の仕様	☒ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）は、三重県公共工事共通仕様書に優先する。 ☒ 三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月版）を適用 ☒ 本市が制定する要綱及び規則等に準拠するとともに監督員の指示により執行すること。 ☒ 「施工プロセス」のチェックリストを活用し、津市工事請負契約約款、設計図書及び三重県公共工事共通仕様書等に基づき、施工・手続き等が適切に実施されていることを常に監督員と共有し、確認すること。 ☒ 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン(平成31年3月)（一部改正：令和6年9月）を参考とする。 ☐ 「土木構造物設計マニュアル（案） 編 」を適用
	☐ 公園工事の仕様	☐ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事共通仕様書（令和6年5月）に準ずること。 ☐ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事施工管理基準（令和6年5月）に準ずること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
工 程 関 係	☐ 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名： ）	☐ 調整項目（ ☐ 資材等の流用 ☐ 仮設及び工事用道路等の調整 ☐ 建設機械等の調整 ☐ 施工順序の調整 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ）
	☒ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☒ 制限する工種名（ ☐ 橋脚巻立て工 ） 施工時期及び施工時間（ 令和7年10月以降 ） 施工方法（ ）
		☒ 工種（ 全工種 ） について、施工日の即日開放を原則とする。
		☐ 工種（ ） について、事前に（ 警察署 ） と立会を行い、確認後、施工すること。
	☐ 工期	☐ 工期は、繰越手続きが完了後、（令和 年 月 日 ）までに変更します。
	☐ 他機関との協議が未完了	☐ 協議が必要な機関名（ ） 協議完了見込み時期（ ）
	☐ 占用物件との工程調整の必要あり	☐ 占用物件名（ ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ その他（ ） ）
	☐ 支障物件の移設	☐ 施工に支障となり、ゴミ置場等の移設が必要な場合は、施工前に関係機関、所有者、関係自治会等と調整を図ること。また、移設場所及び移設時期を所有者、関係自治会等へ事前に回覧等を配布するなど周知の徹底を図ること。なお、調整結果を監督員に報告すること。
	☒ 地下埋設物等の損害	☒ 地下埋設物及び架空線等上空施設の調査結果を監督員に報告すること。また、地下埋設物件等に損害を与えた場合は、直ちに関係機関に通報及び監督員に連絡し、応急措置を取り補修するとともに、周辺住民に対して適切な処置を講じること。
	☒ 官公庁への手続き等	☒ 道路の使用許可申請及び消防長への道路工事の届出等を行うこと。また、諸手続きにおいて、許可、承諾を得たときは、その書面の写しを監督員に提出すること。
	☐ 通学路確認	☐ 工事箇所を通学区域とする学校に確認し、通学路であった場合は、対象の学校と協議し、工程の調整を図り、通学者の安全を確保すること。また、学校との協議結果を監督員に報告すること。
	☐ 部分使用	☐ 部分使用箇所（ ） ☐ 部分使用時期（ ） ☐ 部分使用目的（ ）
	☐ 部分引渡し	☐ 部分引渡し指定部分（ ） ☐ 部分引渡し時期（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
用 地 関 係	☐ 用地補償物件の未処理箇所あり	☐ 未処理箇所（ ☐ 別添図等 ☐ No. ～No. ☐ 別途協議 ） ☐ 完了見込み時期（ ☐ 令和 年 月頃 ☐ 別途協議 ）
	☒ 仮設ヤードの有無	☒ 仮設ヤード（ ☐ 官有地 ☒ 民有地 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☒ 仮設ヤード使用期間（契約日から令和8年2月2日まで） ☒ 仮設ヤードからの運搬距離（L＝0.02km） ☒ 使用条件・復旧方法（原形復旧）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
公害対策関係	☒ 施工方法の制限あり	☒ 制限項目（ ☐ 騒音 ☐ 振動 ☐ 水質 ☐ 粉じん ☒ 排出ガス ☐ その他（ ）） ☐ 施工方法等（ ☐ 指定工法名（ ） ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 施工時期（ ）
	☐ 事業損失防止に関する調査あり	☐ 調査項目（ ☐ 騒音測定 ☐ 振動測定 ☐ 水質調査 ☐ 近接家屋の事前調査 ☐ 近接家屋の事後調査 ☐ 地盤沈下測定 ☐ 地下水位等の測定 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 調査方法（ ☐ 別途資料 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 家屋調査は、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、三重県業務委託共通仕様書に基づき調査を実施すること。また、調査に従事する者（補助者を除く）は、調査対象物件に応じた建築士法第2条に規定する建築士の資格を有する者を充てること。なお、身分証明書交付願を速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後に家屋調査を実施すること。
	☐ 地下水位低下工	☐ ウェルポイントは、近隣家屋の事前調査完了後に着手すること。また、工事現場周辺の井戸調査を行い、井戸が残存する場合は、井戸の水位の変化に細心の注意を払うこと。なお、近隣家屋の事前箇所及び井戸調査範囲は、監督員と協議すること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
	☒ 近接施設等に対する制限	☒ 既存施設あり ・近接公共施設（ ☐ 鉄道 ☐ 電気 ☐ 電話 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ その他（ ）） ・近接施設（ ☐ 擁壁（ ） ☐ ブロック塀 ☐ 家屋 ☒ その他（ 河川護岸 ）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 ☐ 工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ）
	☒ 現場での安全確保（自主施工の原則）	☒ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☒ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
安全対策関係	☒ 事故速報の提出	☒ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	☒ 掘削（床掘り）	☒ 図面に表記した掘削及び床掘ラインは、数量算出に用いたものであり、掘削の深さ、掘削を行っている期間、土質条件、地下水の状況及び周辺地域の環境条件等を総合的に勘案し、安全かつ確実に施工すること。
	☒ 作業後の現場確認	☒ 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	☐ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	☐ 安全防護施設等の配置（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ） ☐ 保安要員の配置（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	☒ 交通安全施設等の指定あり	☒交通安全施設等の配置（☐別添図等☐その他（ ）☒別途協議（ ） ☒交通誘導警備員の配置（☐別添図等☐その他（ ）☒別途協議（ ） ☐指定路線☒指定路線以外 ☒交通誘導警備員の配置人員数 ☒概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 0 人 B： 125 人 （注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。） ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 ☐積上げによる算出 配置人員数（ 人 ）（うち交通誘導警備員A（ 人 ）） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） ☒交通誘導警備員の配置時間（ 別途協議 ） ☒交通誘導警備員の配置期間（ 別途協議 ） ☒交通誘導警備員配置の対象工種（ 別途協議 ）
	☒ 定期安全研修・訓練等	☒安全教育及び安全訓練等は、工事着手後、作業員全員（交通誘導警備員含む）の参加により月当たり、半日以上の時間を割当て、以下の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施すること。また、作業員全員の参加が困難な場合は、分割して実施する事も出来る。なお、安全教育及び安全訓練等の実施状況を記録した資料及び写真を整備及び保管し、監督員及び検査員に提示すること。 (1)安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 (2)当該工事内容等の周知徹底 (3)工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 (4)当該工事における災害対策訓練 (5)当該工事現場で予想される事故対策 (6)その他、安全・訓練等として必要な事項 ☒安全教育及び安全訓練等は、以下に示す項目の具体的な計画を作成し施工計画書へ記載すること。 (1)工事期間中の月別安全研修・訓練等実施全体計画 (2)全体計画には、下記項目の活動内容について具体的に記述する。 1)月当たり半日以上の時間を割り当てた安全研修・訓練等の実施内容・工程に合わせた適時の安全項目 2)資機材搬入者等一時入場者への工事現場内誘導方法 3)現場内の業務内容及び工程の作業員等への周知方法 4)KY及び新規入場者教育の方法 5)場内整理整頓の実施 6)その他安全に関する取組み
	☒ 安全巡視等	☒安全巡視者を定め、安全巡視者はその所在を明らかにするとともに、施工計画書の内容、工事現場の状況、施工条件及び作業内容を熟知し、適時、作業員等の指導及び安全施設や仮設備の点検を行い、工事現場及びその周辺の安全確保に努めること。また、安全巡視、KY活動、TBM等の実施状況を記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	☒ 災害防止協議会（安全衛生協議会）の設置	☒ 下請け契約を締結する場合には、下請負人の工事施工・安全管理の責任者等を含め、災害防止協議会を設置し、作業間の連絡調整を図り、災害防止に努めること。また、協議会の開催は毎月1回以上とする。なお、実施状況を記録した資料（実施状況写真があることが望ましい）を保管し、監督員及び検査員に提示すること。
	☒ 新規入場者教育	☒ 新規入場者教育等（交通誘導警備員を含む）は、本工事の現場特性を反映した内容で実施すること。また、実施状況がわかる記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。
建設発生土・産業廃棄物関係	☒ 建設発生土受入地の指定あり	☒ 受入地の条件（ ☐ 別途図面 ☒ 運搬距離（L＝16 km） ☒ 受入料金あり ☐ 受入料金なし ☐ 別途協議 ☒ その他（受入場所は津市河芸町上野建設発生土処分場とし、受入条件は津市建設発生土処分場受入規則に基づくものとする。））
	☐ 建設発生土受入地未定	☐ 受入地未定につき別途協議する。（ ☐ 暫定運搬距離L＝ km、 ☐ その他（ ））
	☒ 産業廃棄物の処理条件あり	☒ 産業廃棄物の種類（ ☒ コン塊 ☐ アス塊 ☒ 木材 ☐ 汚泥 ☐ その他（ ）） ☒ 産業廃棄物の処分地（ ☒ 再生処分場（ ） ☐ 最終処分場（ ） ☐ 別添図書 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 ☐ 処分場の受入条件（ ） ☐ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
	☒ 再生資源利用計画	☒ 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	☒ 再生資源利用促進計画	☒ 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	☒ 産業廃棄物税	☒ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
	☒ 産業廃棄物処理	☒ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、廃棄物処理法に規定する委託基準を遵守し、産業廃棄物収集運搬業者等、産業廃棄物処分業者等との契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提出すること。 ☒ 産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより、適正に処理されたことを確かめるとともに監督員に提示すること。また、完成検査時に検査員に提示すること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
工事用道路関係	☐ 一般道路（搬入路）の使用制限あり	☐ 経路及び使用期間の制限内容（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☐ 仮設道路の設置条件あり	☐ 使用中及び使用後の措置（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 用地及び構造（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ） ☐ 安全施設（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議（ ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
施 工 条 件	☒ 施工	☒ 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担において処理すること。 ☒ 工事期間中（養生期間中を含む）の工事箇所隣接する乗入れについて、所有者（使用者）と施工前に協議し、施工時間の調整を行い、必要に応じ鉄板等を用いるなど乗入れを確保すること。また、受注者は、完成後の乗入れの形態を所有者に事前に説明し、了承を得ること。 ☒ 排水構造物の施工中は、常に通水可能な状態を確保すること。また、降雨時等は状況把握に努め、必要に応じて臨機の措置を講じること。 ☒ 受注者は、工事箇所に官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、紙、プレート等）が発見された場合は、オフセット等境界を示すものの位置が明確となる資料及び状況写真を添付し、施工前に監督員に報告すること。 また、用地付近又は官民境界付近に接して工事を行う場合には、地権者の了承を得て着手すること。 ☒ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。
	☒ 環境対策	☒ 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 ☒ 既存排水施設等に影響を及ぼす恐れのある濁水（土粒子を多量に含むもの）は、沈砂または濾過施設を通すなど濁りの除去等の行った後、放流すること。また、万が一環境に影響を及ぼす事態が発生した場合は、受注者の責において解決に当たること。
	☐ 支援技術者	☐ ① 本工事の現場における現場技術業務を（公財）三重県建設技術センターに委託するため、支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場立会、観察又は検測を行う場合は、業務に協力すること。また、書類（施工体制台帳、施工計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じること。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しない。 ☐ ② 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合は、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 ☐ ③ 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 ☐ ④ 本工事を担当する支援技術者については、監督員からその氏名を通知する。
	☒ 電子メールを活用した情報共有	☒ 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については、津市建設工事電子メールを活用した情報共有に関する実施要領に基づき、監督員の指示によるものとする。
	☒ デジタル工事写真の電子小黒板の使用	☒ デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。
	☐ ICT活用工事	☐ 「ICT活用工事（土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（土工 1,000m3未満）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（小規模土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（舗装工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（法面工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（地盤改良工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（河川浚渫）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年1月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（舗装工（修繕工））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（擁壁工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（基礎工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（構造物工（橋脚・橋台））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☐ 「ICT活用工事（構造物工（橋梁上部））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
	☒ 週休2日モデル工事	☒ 「特記仕様書（土木工事編）（受注者希望型）」を適用（津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）、週休2日モデル工事の試行について」を参照） ☐ 「特記仕様書（土木工事編）（発注者指定型）」を適用（津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）、週休2日モデル工事の試行について」を参照）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
仮設備関係	☐ 仮設物の構造及び施工方法の指定	☐ 構造及び設計条件（ ☐ 別添図等 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ）
	☐ その他（ ）	☐ 施工方法（ ） ☐ その他（ ）
再生材使用関係	☐ 再生材使用の指定あり	☐ 再生材の種類（ ☐ 再生Asコン ☐ 再生路盤材 ☐ 再生クラッシャーラン ☐ 道路用盛土材 ☐ 再生コン砂 ）
	☐ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	☐ 再生材が使用出来ない場合の措置（ ☐ 新材に変更 ☐ その他（ ） ☐ 別途協議 ）
	☒ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	☐ 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。） ☐ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 （認定製品の品名： ☐ 盛土材 ☐ 埋戻し材 ☐ サンドクッション材 ☐ 上層路盤材 ☐ コンクリート二次製品 ☐ グレーチング ☐ その他（ ）） ☒ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ）
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
コリンズ作成・登録	☒ コリンズ（CORINS）の作成・登録	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設発生土情報交換システム	☒ 建設副産物情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。
	☒ 建設発生土情報交換システム	☒ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
提出書類	☒ 工事完成報告書	☒ 工事完成報告書の提出部数は2部とする。また、様式については、津市ホームページ（入札等に関する各種様式（工事・コンサル）に定められたものとする。
	☒ 完成写真	☒ 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4）
	☒ 施工計画書（作業主任者）	☒ 作業主任者を選任すべき作業については、作業名及び作業主任者の氏名等を施工計画書へ記述するとともに資格者証の写しを施工計画書へ添付して提出すること。また、就業制限の対象業務及び特別教育の必要な対象業務も同様とする。
	☒ 施工体制台帳	☒ 工事を施工するために下請契約（一次下請負人となる警備業者との契約含む）を締結した場合、工事着手までに、原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、添付書類も含めその写しを監督員に提出すること。また、施工体制に変更が生じた場合も同様とする。
	☒ 部分下請通知書	☒ 工事の一部分において、下請負に付する場合には、部分下請通知書を当該下請負業者の施工開始日までに提出すること。部分下請通知書には、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、主任技術者等の資格者証の写し及び主任技術者等の雇用関係書類を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。また、添付書類については、施工体制台帳と兼ねることができる。
	☒ 工事使用材料	☒ 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を特に明示した場合を除き、三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に示す規格に適合したものとする。また、使用する材料の品質証明の資料確認（提示及び提出）は、施工計画書作成時に監督員と協議すること。
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
電 子 納 品	☒ 工事完成図書（工事写真含む）	☒ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。
	☐ 電子納品対象外	また、受注者が希望しない場合は監督員の承諾を得て、電子納品としないことができる。 電子媒体の提出部数は、（ ☒ 2部 ☐ （ ）部）とする。 ☒ 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和 6 年 7 月改訂）を適用

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
薬液注入関係	☐ 薬液注入工法等の指定あり	☐ 設計条件（ ） 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ） ☐ 削孔数量（ ） 注入量（ ） その他（ ）
	☐ 提出書類あり	☐ 工法関係（ ） 材料関係（ ）
	☐ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	
	☐ その他（ ）	☐ その他（ ）
社会保険等未加入対策	☒ 社会保険等未加入対策（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	☒ 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	☒ 法定福利費を明記した標準見積書の活用	☒ 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用に努めること。（津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）
配慮依頼事項	☒ 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用	☒ 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあつては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮すること。
	☒ 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の使用	☒ 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮すること。
	☒ 建設機械、機器等の借入れ	☒ 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。
	☒ 使用人等において市民の活用	☒ 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
特例監理技術者の設置	☐ 特例監理技術者の設置	☐ 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。なお、配置を行う場合は、追加特記仕様書〔特定管理技術者等の配置〕に示す要件を全て満たさなければならない。（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）
時間外労働の上限規制の適用	☐ 時間外労働の上限規制の適用	☐ 本工事は、労働基準法第139条第1項「災害時における復旧及び復興の事業」に該当する工事である。
津市公契約条例	☒ 津市公契約条例に関する特記	☒ 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあつては、別紙誓約事項に違反したとき。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市公契約条例	☒ 労働環境の確保に係る誓約事項	☒ 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し関係機関からは正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。
暴力団等の不当介入の排除等	☒ 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	☒ 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。 1 受注者の義務 (1) 契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。 (5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 (6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。 2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 (1) 入札参加資格等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。 (2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。 3 契約等の解除 (1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。
建設業退職金共済制度に係る事務手続き	☒ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて	☒ 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。 1 建設業退職金共済制度への加入 受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。 2 契約締結時の提出書類 工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後1ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合は、契約締結後原則として40日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。 3 共済証紙購入額 掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」1～4によるものとし、当該労働者の就労予定延べ人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」2又は3によることが望ましいが、これにより難しい場合は「考え方」1とし、契約金額（税込）の1000分の1.7以上を目途とすること。 4 共済証紙等の管理 購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就労状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
建設業退職金共済制度に係る事務手続き		5 工事完成後の提示書類 工事完成後、速やかに掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認し、「掛金充当実績総括表」を作成し、監督員に提示すること。また、事務手続きの履行状況を確認するため、必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその他関連書類の提示を求める場合がある。 6 建設キャリアアップシステムの活用 建設キャリアアップシステム（以下 CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は、カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また、CCUS の活用により対象労働者の就労状況等を適切に把握し、就業履歴数と対象労働者の就労状況報告との間で齟齬が生じないように留意すること。
津市工事請負の地元調整	☒ 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書	☒ 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。 1 趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」と及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。 2 発注者及び受注者の責務 (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。 (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。 3 定義 (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合等など利害関係者の代表者を含むものとする。 (2) 「不当要求行為等」とは、 ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為 イ 暴力行為、脅迫行為 ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為 エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為 オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為 カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為 (3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。 4 工事説明の進め方 (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。 (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関することを、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。 (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。 (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。 (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。 (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市工事請負の 地元調整		5 不当要求行為等 (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。 (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。
その他	☒ その他（年度別総事業費の割合）	☒ 本工事の年度別総事業費の割合は、次のとおりとする。 令和6年度 0 % 令和7年度 100 %

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

工期算定書

工期の算定には、施工に必要な実働日数以外に以下の事項を見込んでいる。

準備期間	:	60	日
後片付け期間	:	20	日
雨休率※	:	0.86	
その他作業不能日	:	0	日

※休日と天候等による作業不能日を見込むための係数

(雨休率＝(休日数＋天候等による作業不能日)／実働可能日数)

休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

天候等による作業不能日は、以下を見込んでいる。

- イ) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日
- ロ) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数